

GR

RICOH

使用説明書

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

準備編

お使いになる前に必ずお読みください。

カメラの各部の名称や準備について説明しています。

基本編

はじめてお使いになるときは必ずお読みください。

電源を入れる、撮影する、再生するなど、はじめてこのカメラをお使いの方でも基本的な操作ができるようになります。

応用編

目的に応じて必要なときにお読みください。

いろいろな撮影機能や再生機能のほか、カメラのカスタマイズ、パソコンを利用する方法など、すべての機能が記載されています。

同梱品を確認する

パッケージを開いたら同梱品を確認してください。



GR



ホットシュー
カバー
(カメラ装着)



リチャージャブ
ルバッテリー
(DB-65)



USB 電源
アダプター
(AC-U1)



電源プラグ

- USB ケーブル
- ハンドストラップ
- CD-ROM
- 使用説明書 (本書)

お客様登録のお願い

このたびは、ペンタックスリコーイメージング製品をお買い求めいただきありがとうございます。

ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、以下の弊社 Web サイトからお願いいたします。

<https://login.pentax.jp/customer/menu.aspx>

なお、ご登録いただいた方には、Eメール(ファームウェアなどのサポート情報)の配信を行っております。

はじめに

この使用説明書には、本カメラを使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。

本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用前に本書を最後までお読みください。本書が必要になったときにすぐに利用できるよう、お読みになった後は必ず保管してください。

ペンタックスリコーイメージング株式会社

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽などの著作物は、個人的または家庭内およびこれに準する限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複製、改変などすることは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本カメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本カメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、以下のようになしてください。 <ul style="list-style-type: none">・テレビやラジオなどからできるだけ離す・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える・コンセントを別にする 〈電波障害自主規制について〉 この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

© 2013 PENTAX RICOH IMAGING CO.,LTD.

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧ください。

Microsoft、Windows、Windows 7®、Windows 8® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。

この製品は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG 技術を取り入れています。

DNG ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI ライセンシングの商標または登録商標です。

SILKYPIX は、株式会社市川ソフトウェアラボラトリーの登録商標です。

Eye-Fi、Eye-Fi connected、および Eye-Fi ロゴは、アイファイジャパン株式会社の登録商標です。

会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

AVC Patent Portfolio License について

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限られ、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものを AVC ビデオとします）
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされた AVC ビデオ、または AVC ビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手した AVC ビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLC から取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

BSD ライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部に BSD ライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSD ライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件にもとづき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term

Copyright (c) T.Teranishi.

Copyright (c) TeraTerm Project.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:




1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



① 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



② 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

③ の中に具体的な禁止内容が描かれています。

● 表示例

④ 意味：接触禁止 ⑤ 意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

危険



● カメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。



● 電池を分解、改造、直接ハンダ付けしたりしないでください。



● 電池を火の中に投入したり、加熱したり、火のそばや車の中など温度が高くなる場所で使用したり、放置しないでください。また、水や海水などにつけたり、濡らさないでください。



● 電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。



● 外傷、変形の著しい電池は使用しないでください。



● 電池の(+)と(-)を針金等の金属で接続しないでください。また、金属製のボールペンやネックレスなどと一緒に携帯したり、保管しないでください。



● 電池は、弊社専用充電器で充電してください。また、弊社の DB-65 対応デジタルカメラ以外にはご使用にならないでください。



● 異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは、すぐに使用をやめてください。修理は、お買い上げ店または修理受付センターにご依頼ください。



● 電池が漏液して液が目に入ったときには、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

警告



● 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。



● 万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池とメモリーカードを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。













● 画像モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- ・ 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
- ・ 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- ・ 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。



● 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

- ・ この製品で指定している電池以外は、使用しないでください。
- ・ 金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- ・ 電子レンジや高压容器に入れないでください。
- ・ 使用中や充電中、液漏れしたり、異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、直ちにカメラや充電器から取り外し、火気から遠ざけてください。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の充電による火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。 ・ 表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。 ・ 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。 ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 ・ 布などに包んで使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● この製品で使用している電池や SD メモリーカードを誤って飲み込むことがないように、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。直ちに医師と相談してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。破損したときは、お買い上げの店または修理受付センターに連絡してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 台所などの湯煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。 ● 航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。 ● 家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用の AC アダプターをご利用ください。指定以外の AC アダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに充電器や AC アダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり引っ張ったり、無理に曲げたりすると、電源コードをいため、火災や感電の原因になります。



●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



●電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理受付センターに連絡してください。火災や感電の原因になります。
●使用中に異常な音がするとき、煙が出るときなどの不具合がある場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げ店または修理受付センターまで連絡してください。機器が故障したり、不具合のまま使用しないでください。



●自分で分解しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。



●風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



●雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



●電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。



●充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。



●電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。



●電池が漏液したり異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。

注意



●電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。（せっけんは使用しないでください）
また、液漏れが起こったときは、液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。



●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。



●カメラを濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



●車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。



- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 布などに包んで使用しないでください。火災の原因になります。
- 端子部や電源コードの金属部をショートさせないでください。火災の原因になります。
- 台所などの油煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

別売り品について

別売り品をお使いになるときには、各製品の使用説明書を操作の前に必ずお読みください。

もくじ

はじめに	1
もくじ	8

準備編 13

各部の名称	14
ダイヤル／レバーの使い方	16
画像モニターの表示	18
準備をする	23

基本編 31

撮影する	32
オート設定で撮影する	32
セルフタイマーで撮影する	35
カメラの傾きを確認する	36
再生する	38
メニューの操作方法	39

応用編 41

1 いろいろな撮影 42

絞り値・シャッタースピードを設定して撮影する	42
絞りプレビューを利用する	46
ND フィルターを利用する	47
露出に関する設定	48
露出を補正する	48
ISO 感度を設定する	49
ダイナミックレンジを補正する	51
測光方法を選択する	52
静止画のフォーマットを設定する	53
フォーカスを設定する	54
フォーカス方法を選択する	54
接写する（マクロ撮影）	57
AF ボタンを利用する	58
フォーカスアシスト・AE/AF ターゲットを設定する	60
シャッター一気押しで撮影する（フルプレススナップ）	62

ホワイトバランスを設定する	63
色温度で設定する	65
ホワイトバランスを手動設定する	66
連続して撮影する.....	66
連写で撮影する	67
設定を変化させて連続撮影する（オートブラケット）.....	68
画像を合成しながら撮影する（多重露光撮影）.....	69
一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）.....	71
星の光跡などを記録する（インターバル合成）.....	72
フラッシュを使用する	74
フラッシュモードを設定する	74
フラッシュの光量を調整する.....	76
マニュアル発光の発光量を設定する	77
フラッシュ発光のタイミングを設定する	77
写真の雰囲気を変えて撮影する	78
エフェクト	78
画像設定.....	79
その他の撮影機能.....	82
静止画に日付を入れる	82
動画を撮影する.....	82
動画のフォーマットを設定する	82
動画を撮影する	84
動画を再生する	85
動画を切り出す	86
2 いろいろな再生	87
一覧表示する	87
スライドショーで表示する	87
拡大表示する.....	88
ファイルを整理する.....	89
削除する.....	89
プロテクトを設定する	91
内蔵メモリーの画像をカードへコピーする.....	93
補正・加工する.....	93
画像サイズを縮小する	93
トリミングする	94
斜めから撮影した画像を補正する	95

明度・コントラストを補正する（レベル補正）.....	96
ホワイトバランスを補正する.....	98
色モアレを補正する.....	98
RAW ファイルを現像する.....	99
AV 機器で再生する.....	100
DPOF を設定する.....	101
複数の静止画に DPOF を設定する.....	102
転送する画像を選択する.....	103
3 カメラの設定を変更する	105
カメラをカスタマイズする.....	105
撮影設定を登録する（マイセッティング）.....	105
マイセッティングモードで撮影する.....	108
マイセッティングを編集する.....	109
ADJ. レバーに機能を登録する.....	111
Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに機能を登録する.....	113
その他の設定を変更する.....	115
画像モニターの明るさを調節する.....	115
撮影モードの表示内容を設定する.....	116
操作音を設定する.....	117
ファイル名を変更する.....	117
ファイル番号をリセットする.....	118
著作権情報を設定する.....	119
ファームウェアのバージョンを確認する.....	119
4 メニュー一覧	120
[撮影設定] メニュー.....	120
[再生設定] メニュー.....	123
[キーカスタム設定] メニュー.....	124
[セットアップ] メニュー.....	126
5 画像をパソコンに取り込む	129
画像をパソコンで利用するには.....	129
Windows.....	129
Macintosh.....	129
画像をパソコンに保存する.....	130
ソフトウェアのインストール.....	131

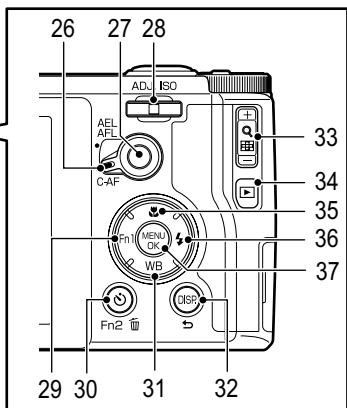
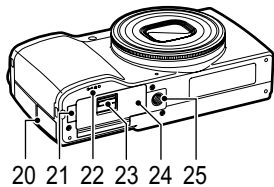
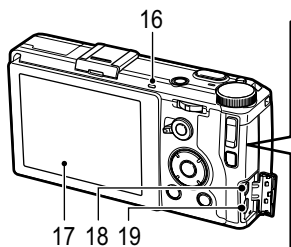
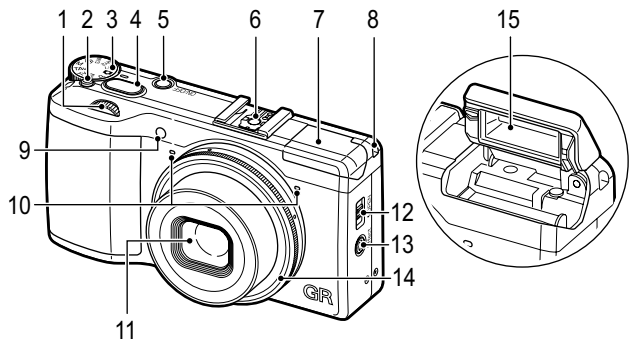
お困りのときは.....	132
エラーメッセージ.....	132
カメラ本体のトラブル.....	133
主な仕様.....	138
記録可能枚数/時間.....	141
別売り品の取り付け.....	142
コンバージョンレンズ/フード&アダプター.....	142
ACアダプター.....	143
外部フラッシュ.....	144
海外でお使いのときは.....	146
使用上のご注意.....	147
お手入れと使用/保管場所について.....	150
アフターサービスについて.....	151
索引.....	152
リコーフォトギャラリー RING CUBE.....	156
ギャラリー・ショールーム.....	156
フォトスクール・写真クラブ.....	157
保証規定.....	158

準備編

カメラの各部名称や準備 を説明します

各部の名称	14
ダイヤル／レバーの使い方	16
画像モニターの表示	18
準備をする	23

各部の名称



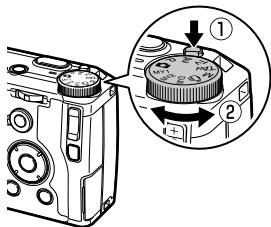
- | | | | |
|----|--|----|---|
| 1 | アップダウンダイヤル.....P.17 | 22 | スピーカー.....- |
| 2 | ロックボタン.....P.16 | 23 | 解除レバー.....P.23 |
| 3 | モードダイヤル.....P.16 | 24 | バッテリー／カードカバー
.....P.23 |
| 4 | シャッターボタン.....P.32 | 25 | 三脚ネジ穴.....- |
| 5 | POWER (電源) ボタン.....P.28 | 26 | AF ファンクション切り替えレ
バー.....P.58 |
| 6 | ホットシュー.....P.144 | 27 | AF ボタン.....P.58 |
| 7 | フラッシュカバー.....P.32 | 28 | ADJ./ISO レバー
.....P.17、111 |
| 8 | ストラップ取り付け部.....- | 29 | Fn1／◀ ボタン.....P.113 |
| 9 | AF 補助光.....P.35、126 | 30 | ☉ (セルフタイマー) /
Fn2／☒ (削除) ボタン
.....P.35、89、113 |
| 10 | マイク.....- | 31 | WB (ホワイトバランス) /
▼ ボタン.....P.63 |
| 11 | レンズ.....- | 32 | DISP./↶ ボタン
.....P.21、36、P.116 |
| 12 | ⚡OPEN (フラッシュ
オープン) スイッチ.....P.32 | 33 | +/- (Q/☒) ボタン
.....P.87、88 |
| 13 | 🌀 (絞りプレビュー) /
Effect ボタン.....P.46、113 | 34 | ▶ (再生) ボタン.....P.38 |
| 14 | リングキャップ.....P.142 | 35 | 👂 (マクロ) /▲ ボタン
.....P.57 |
| 15 | フラッシュ発光部.....P.32 | 36 | ⚡ (フラッシュ) /▶ ボタン
.....P.75 |
| 16 | オートフォーカス／フラッ
シュランプ.....P.32、33 | 37 | MENU/OK ボタン.....P.39 |
| 17 | 画像モニター.....P.18 | | |
| 18 | USB・AV OUT 兼用端子
.....P.26、100、130 | | |
| 19 | HDMI マイクロ出力端子
(Type D).....P.100 | | |
| 20 | 端子カバー.....P.26、100、130 | | |
| 21 | 電源 (DC 入力) ケーブル
カバー.....P.143 | | |

ダイヤル／レバーの使い方

モードダイヤル

撮影モードはモードダイヤルで切り替えます。

モードダイヤルはロックボタン (①) を押しながらかいします (②)。



Av : 絞り優先モード (P.42)

絞り値を手動で設定し、シャッタースピードが自動的に設定されます。

P : プログラムシフトモード (P.42)

絞り値とシャッタースピードの組み合わせを選択できます。

☑ : オート撮影モード (P.32)

被写体によって、最適な絞り値とシャッタースピードが自動的に設定されます。

MY1 / MY2 / MY3 : マイセッティングモード (P.108)

[マイセッティング登録] で登録した設定で撮影できます。

Tv : シャッター優先モード (P.42)

シャッタースピードを手動で設定し、絞り値が自動的に設定されます。

TAv : シャッター & 絞り優先モード (P.42)

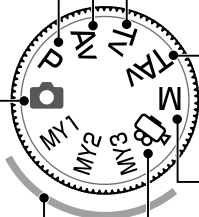
シャッタースピードと絞り値を手動で設定し、ISO感度は自動的に設定されます。

M : マニュアル露光モード (P.42)

絞り値とシャッタースピードを手動で設定できます。

🎥 : 動画モード (P.82)

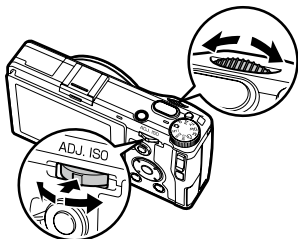
動画撮影ができます。



アップダウンダイヤル／ADJ. レバー

アップダウンダイヤル／ADJ. レバーは、▲▼◀▶ ボタンの代わりに使用したり、露出を設定するときに使用します。(☞ P.43)

アップダウンダイヤル



ADJ. レバー

	操作	機能
アップダウンダイヤル	左右に回す	▲▼ ボタンの代用 絞り値／シャッタースピードの変更
ADJ. レバー	左右に倒す	◀▶ ボタンの代用 絞り値／シャッタースピード／ISO 感度の変更
	中央を押す	登録した機能の呼び出し (☞ P.112)

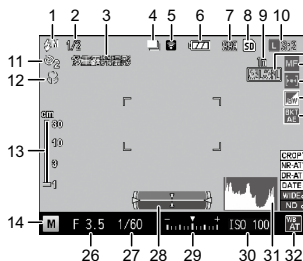


メモ

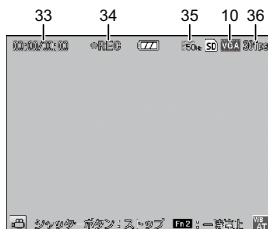
- ・アップダウンダイヤルと ADJ. レバーの機能を変更することができます。(☞ P.43、P.88)

画像モニターの表示

撮影画面



静止画モード



動画モード

1	フラッシュモード.....	P.74
2	フラッシュ調光補正/ フラッシュマニュアル発光量	P.76、77
3	多重露光撮影/インターバル 撮影/インターバル合成	P.69、71、72
4	連写.....	P.67
5	Eye-Fi 通信.....	P.20
6	電池マーク.....	P.20
7	残り記録枚数.....	P.141
8	記録先.....	P.25
9	スナップ時フォーカス距離	P.56
10	フォーマット・サイズ/ アスペクト比.....	P.53、83
11	セルフタイマー.....	P.35
12	マクロ撮影.....	P.57
13	フォーカスパー/被写界深度	P.56
14	撮影モード.....	P.42
15	AEL/AFL.....	P.58
16	フォーカスモード.....	P.54

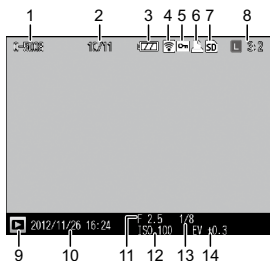
17	測光モード.....	P.52
18	画像設定/エフェクト.....	P.78
19	オートブラケット.....	P.68
20	35mm クロップ.....	P.53
21	ノイズリダクション.....	P.50
22	ダイナミックレンジ補正.....	P.51
23	日付入れ撮影.....	P.82
24	コンバージョンレンズ.....	P.142
25	ND フィルター.....	P.47
26	絞り値.....	P.43
27	シャッタースピード.....	P.43
28	水準器インジケータ	P.21、36
29	露出インジケータ/ 露出補正.....	P.43、48
30	ISO 感度.....	P.49
31	ヒストグラム表示.....	P.21、116
32	ホワイトバランスモード.....	P.63
33	記録時間/残り記録時間	P.141
34	動画記録中.....	P.84
35	蛍光灯ちらつき低減.....	P.83
36	フレームレート.....	P.83



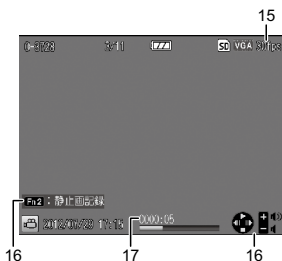
メモ

- ・残り記録枚数の最大表示は「9999」です。

再生画面



静止画モード






動画モード

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | フォルダー - ファイル番号
..... P.117 |
| 2 | 再生ファイル数 /
総ファイル数 - |
| 3 | 電池マーク P.20 |
| 4 | Eye-Fi 通信 P.20 |
| 5 | プロテクト P.91 |
| 6 | DPOF P.101 |
| 7 | 再生元 P.25 |
| 8 | フォーマット・サイズ /
アスペクト比 P.53 |








- | | |
|----|----------------------|
| 9 | ファイルの種類 - |
| 10 | 撮影日時 - |
| 11 | 絞り値 P.43 |
| 12 | ISO感度 P.49 |
| 13 | シャッタースピード P.43 |
| 14 | 露出補正 P.48 |
| 15 | フレームレート P.83 |
| 16 | 操作ガイド - |
| 17 | 記録時間：経過時間 P.85 |

電池残量

電池マーク	残量
	残量は十分あります。
	残量が減り始めました。充電することをお勧めします。
	残量がわずかになりました。充電してください。

Eye-Fi 通信

Eye-Fi カード (P.24) を使用しているときは、撮影画面と再生画面に通信状態が表示されます。

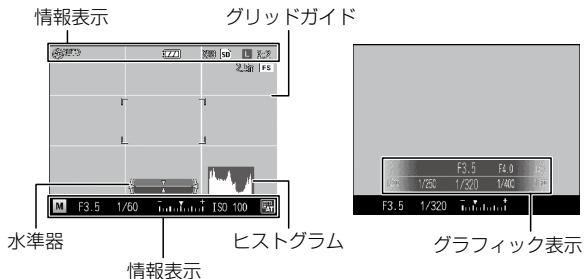
マーク	状態
	未接続
	接続中
	転送待機中
	転送中
	中断
	転送済み画像
	Eye-Fi カード情報取得エラー <ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。繰り返し表示される場合は、カードの異常が考えられます。

画面表示を切り替える

DISP. ボタンで、画面の表示内容を変更できます。

撮影モード

撮影モードでは以下の表示ができます。

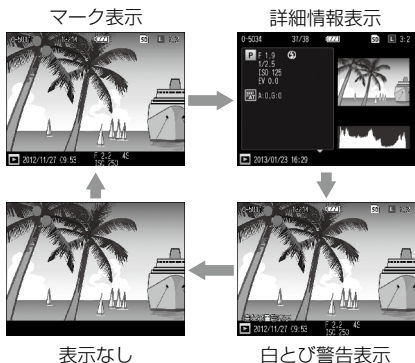


[セットアップ] メニューの [DISP. 表示設定] で、DISP. ボタンを押す回数ごとに表示する内容を指定できます。(P.116)



メモ

- ・ [セットアップ] メニューの [情報表示モード] を [ON] に設定すると、画像モニターオフ時でも、以下の場合には画像モニターに情報が表示されます。情報表示後に数秒間操作をしなかったとき、またはシャッターボタンを半押ししたときは情報表示が消えます。
 - ・ Fn1 ボタン / ボタン / ボタン / Effect ボタンを押したとき
 - ・ モードダイヤル / アップダウンダイヤルを回したとき
 - ・ ADJ. レバーを倒したとき
 - ・ OPEN スイッチを押してフラッシュをポップアップしたとき、フラッシュカバーを閉じたとき



メモ

- ・白とび警告表示は、[セットアップ] メニューの [白とび警告表示] を [ON] に設定した場合にハイライト部分を黒く点滅表示します。 [OFF] (初期設定) のときは白とび警告表示は表示されません。
- ・詳細情報表示は、▲▼ ボタンでページを切り替えます。



注意

- ・動画は、詳細情報表示 / 白とび警告表示は表示されません。
- ・HDMI ケーブルで接続しているときは、白とび警告表示は表示されません。

準備をする

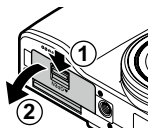
撮影できるように準備します。

バッテリー／メモリーカードをセットする

バッテリーとメモリーカードのセット／取り出し時は、カメラの電源がオフになっていることを確認してください。

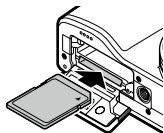
本カメラは、市販のSDメモリーカード／SDHCメモリーカード／SDXCメモリーカードが使用できます（本書は、これらのカードを「メモリーカード」と表記します）。

- 1 カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドさせ、バッテリー／カードカバーを開ける



- 2 メモリーカードの向きに注意し、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥へ挿入する

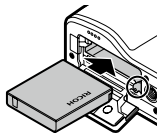
取り出すときは、メモリーカードを押し込んで手を離します。



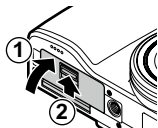
- 3 バッテリーを挿入する

バッテリー側面でロックツメを押しながら奥まで入れます。

取り出すときは、ロックツメを押しずらします。



- 4 バッテリー／カードカバーを閉じ、解除レバーを「OPEN」と反対側にスライドさせてロックする





Eye-Fi カード

- 本カメラは、無線 LAN 機能を内蔵した SD メモリーカード「Eye-Fi カード」(X2 シリーズ)が使用できます。Eye-Fi カードの詳細は、Eye-Fi のホームページ (<http://www.eyefi.co.jp>) を参照してください。
- Eye-Fi カードを使用している場合は、[セットアップ] メニューに以下の項目が表示されます。

Eye-Fi 接続設定	[OFF] 無線 LAN 機能を停止し、通常の SD メモリーカードと同じように動作します。 [ON (自動)] 未送信の画像をすべて転送します。 [ON (選択転送)] 選択した画像のみを転送します。[再生設定] メニューの [Eye-Fi 選択画像送信] で送信する画像 (最大 20 枚) を指定します。縮小して転送することもできます。再生モードで Effect ボタンを押すと、すぐに転送ができます。(P.104)
Eye-Fi 接続先表示	Eye-Fi カードが接続している無線 LAN の SSID を表示します。

- 動画は転送できません。
- バッテリーの充電中は転送できません。
- 選択画像送信が正しく実行できなかった場合、「EYERICOH」というフォルダーが残る場合があります。このフォルダーは、カメラを再起動すると削除されます。
- 類似機能の他社製品を使用した場合、上記メニューや通信状態を表すアイコンは表示されません。また、対応カード以外の動作は保証していません。
- 本製品は、Eye-Fi カードの機能 (無線送信を含む) を保証するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。また、Eye-Fi カードが使用できるのは、購入した国の国内のみです。使用が認められているか不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。

データの記録先

撮影したデータは、カメラ本体の内蔵メモリーかメモリーカードに記録されます。メモリーカードがセットされていないときは、内蔵メモリーに記録・再生されます。



注意

- ・メモリーカードがセットされているときは、メモリーカードの容量がいっぱいになっても内蔵メモリーには記録されません。
- ・メモリーカードに記録されているデータが 10000 ファイルを超えた場合、フォルダー番号／ファイル番号が小さいファイルは再生できません。



メモ

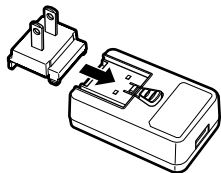
- ・内蔵メモリーのデータはメモリーカードにコピーすることができます。(P.93)
- ・記録可能枚数／時間は、メモリーカードの容量によって異なります。(P.141)
- ・新しいメモリーカードや他の機器で使用したメモリーカードを使用する場合は、本カメラで初期化してからお使いください。初期化は [セットアップ] メニューの [初期化 [カード]] で行ってください。

バッテリーを充電する

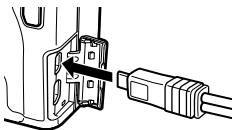
付属のリチャージャブルバッテリー（DB-65）は、使用する前に充電する必要があります。充電は付属の USB ケーブルと USB 電源アダプター（AC-U1）、電源プラグを使用します。

1 電源プラグを USB 電源アダプターに取り付ける

「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



2 端子カバーを開け、USB・AV OUT 兼用端子に USB ケーブルを接続する



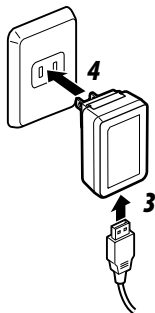
3 USB 電源アダプターに USB ケーブルを接続する

4 コンセントに USB 電源アダプターを差し込む

オートフォーカス／フラッシュランプが点灯し、充電が始まります。

充電時間はバッテリーの残量によって異なります。バッテリーが空の場合、約 3 時間で充電が完了します（25℃の場合）。

オートフォーカス／フラッシュランプが消灯したら充電は終了です。USB 電源アダプターをコンセントから抜いてください。





記録可能枚数

- ・バッテリーフル充電時の記録可能枚数の目安は、約 290 枚です。
- ・記録可能枚数は CIPA 規格に準拠した測定条件によるものです（温度 23℃、画像モニターオン、30 秒ごとに撮影、2 回に 1 回フラッシュ発光、10 枚撮影するごとに電源をオフ/オンを繰り返す）。
- ・記録可能枚数は目安です。長時間ご使用になる場合は、予備のバッテリーを用意することをお勧めします。



注意

- ・リチャージャブルバッテリーは、純正品（DB-65）をご使用ください。
- ・充電中にオートフォーカス/フラッシュランプが点滅しているときは、USB 電源アダプターまたはバッテリーに異常があります。USB 電源アダプターをコンセントから抜いて、バッテリーを取り出してください。
- ・使用直後のバッテリーは高温になることがあります。バッテリーの取り出しは、カメラの電源をオフにして温度が下がるのを待ってから行ってください。



メモ

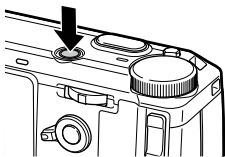
- ・USB ケーブルでカメラとパソコンを接続したときも、バッテリーを充電できます。バッテリーが空の場合、約 5 時間で充電が完了します。（P.130）
- ・DB-65 は、別売りのバッテリーチャージャー（BJ-6）で充電ができます。（充電時間：約 2.5 時間）

電源をオン／オフする

POWER ボタンを押します。

オンにすると POWER ボタンが点灯し、オートフォーカス／フラッシュランプが数秒間点滅します。

再度 POWER ボタンを押すと、電源がオフになります。

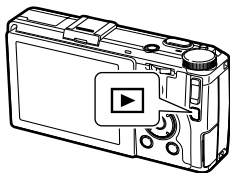


RICOH

再生モードで使うとき

▶ ボタンを 1 秒以上押し続けると、再生モードで電源がオンになります。

もう一度 ▶ ボタンを押すと電源がオフになります。



メモ

- ・バッテリーの消耗を抑えるため、[セットアップ] メニューで以下の機能が設定できます。

	動作	設定が無効になるとき
オートパワーオフ	一定時間カメラを操作しないと、電源をオフにします。[OFF] または最長 30 分まで 1 分単位で設定できます。復帰するときは、電源を入れ直します。	<ul style="list-style-type: none"> ・動画／連写の撮影中 ・多重露光撮影／インターバル撮影／インターバル合成の撮影時 ・動画／スライドショーの再生中 ・処理中 ・Eye-Fi カードで画像転送中 ・パソコン接続時

	動作	設定が無効になるとき
スリープ	一定時間カメラを操作しないと、画像モニターの輝度を落とします。[OFF] または最長 30 分まで 1 分単位で設定できます	<ul style="list-style-type: none"> • 動画／連写の撮影中 • 多重露光撮影／インターバル撮影／インターバル合成の撮影時 • 再生中 • AV ケーブル／HDMI ケーブル接続時
画像モニター節電	カメラを約 5 秒間動かさなかったときに、画像モニターの輝度を落とします。[ON] [OFF] から選択できます。	

- POWER ボタンのランプは、[セットアップ] メニューの [電源ボタンランプ] で [ON] [OFF] が切り替えられます。

日時を合わせる

はじめて電源をオンにしたときは、[日時設定] 画面が表示されます。

1 年/月/日/時/分/表示形式を設定する

◀▶ で項目を移動し、▲▼ で数値を変更します。

⏪ ボタンを押すと、設定をキャンセルします。



2 MENU/OK ボタンを押す

確認画面が表示されます。

3 MENU/OK ボタンを押す

日時が設定されます。



メモ

- ・バッテリーを取り出してから約5日間経過すると、設定した日時がリセットされます。日時を保持させるためには、十分に残量のあるバッテリーを2時間以上セットしてからバッテリーを取り出してください。
- ・設定した日時は [セットアップ] メニューの [日時設定] で変更できます。
- ・メニューやメッセージなどの表示言語 (日本語/英語) は、[セットアップ] メニューの [Language/ 言語] で変更できます。

基本編


はじめてお使いのときは
必ずお読みください

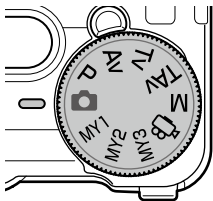
撮影する	32
再生する	38
メニューの操作方法.....	39


撮影する

準備ができたら、さっそく撮影してみましょう。

オート設定で撮影する

- 1** モードダイヤルを  に合わせる
ロックボタンを押しながらモードダイヤルを回します。

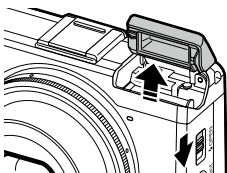


- 2** フラッシュを使用するときは、 OPEN スイッチを下にスライドする

フラッシュがポップアップします。

フラッシュ充電中は、オートフォーカス／フラッシュランプが点滅します。充電が完了すると消灯し、撮影が可能になります。

フラッシュカバーを閉じているときは、フラッシュは発光しません。



- 3** シャッターボタンを半押しする
ピント合わせが行われ、露出が固定されます。
最大9点で測距し、ピントが合っている位置を緑の枠で表示します。

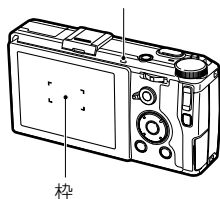


- 4** シャッターボタンを全押しする
撮影した画像が画像モニターに表示され、記録されます。



ピント合わせについて-----

- ピント合わせの状態は、画像モニター中央の枠の色とオートフォーカス／フラッシュランプで確認できます。



ピント合わせの状態	枠の色	オートフォーカス／フラッシュランプ
ピント合わせ前	白	消灯
ピントが合ったとき	緑	緑点灯
ピントが合わなかったとき	赤（点滅）	緑点滅

- 以下のような被写体は、ピントを合わせられないことや、枠の色が緑になっていてもピントが合っていないことがあります。
 - ・コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
 - ・横線だけで、凹凸のないもの
 - ・動きの速いもの
 - ・暗いところのもの
 - ・強い逆光や反射光があるもの
 - ・蛍光灯などのちらつきのあるもの
 - ・光源が点状のもの（電球、スポットライト、点光源 LED など）
- このような被写体を撮影するときは、撮影したい被写体と同じ距離にある違う被写体にピントを固定してから撮影してください。



メモ

- モードは、以下の設定で撮影されます。
 - ISO 感度 [AUTO-HI]
 - ノイズリダクション [AUTO]
 - 測光 [マルチ]
 - フォーカス [顔認識優先 AF]
 - オートマクロ
 - ホワイトバランス [マルチパターン AUTO]
 - フラッシュ [AUTO]

上記の機能は設定を変更できません。

- 撮影直後に画像を表示する時間は、[セットアップ] メニューの [画像確認時間] で [OFF] [0.5 秒] [1 秒] [2 秒] [3 秒] [HOLD] から選択できます。[HOLD] に設定すると、次にシャッターボタンを半押しするまで画像が表示されます。
- 撮影後にリリースを解除せずにシャッターボタン半押しを継続したときに、フォーカス/絞り/シャッタースピード/ISO/ホワイトバランスの設定が維持されます。次の場合は、撮影条件は維持できません。
 - セルフタイマー
 - インターバル撮影
 - インターバル合成
 - モード

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーは、[2 秒] [カスタムセルフ] が選択できます。手ブレを防ぎたいときには [2 秒] に設定すると便利です。[カスタムセルフ] では、記録可能枚数と撮影間隔を設定して撮影できます。

1 ㊦ ボタンを押す

セルフタイマーを選択する画面が表示されます。

㊦ ボタンを押すと、[セルフ 2 秒] → [カスタムセルフ] → [セルフ オフ] の順に設定が切り替わります。

2 撮影する

セルフタイマーがスタートすると、AF 補助光が発光します。



✖E

- ・撮影後もセルフタイマーは解除されません。セルフタイマーを解除するときは、電源をオフにするか [セルフオフ] に切り替えます。
- ・[セルフ 2 秒] の場合は AF 補助光は発光しません。
- ・[カスタムセルフ] を選択したときは、[撮影設定] メニューの [カスタムセルフ] で以下の項目を設定します。

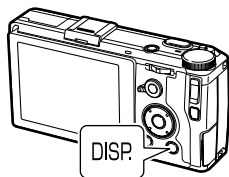
撮影枚数	1 ~ 10 枚 [初期値：2 枚]
撮影間隔	5 ~ 10 秒 [初期値：5 秒]

- ・撮影枚数が 2 枚以上の場合、フォーカスは 1 枚目の位置で固定されます。
- ・㊦ ボタンは Fn2 ボタンとしても使用します。[キーカスタム設定] メニューの [Fn2 ボタン設定] (P.113) でセルフタイマー以外の機能を登録している場合は、セルフタイマーは使用できません。
- ・[フォーカス] が [被写体追尾 AF] に設定されているときは、[カスタムセルフ] は選択できません。

カメラの傾きを確認する

本カメラは水準器を内蔵しており、カメラの傾きを画像モニターで確認できます。水平方向と前後方向（アオリ）の確認ができます。

- 1** DISP. ボタンを長押しする
メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ ボタンで設定を選択する

OFF	インジケータを表示しません。
水平+アオリ	水平・アオリインジケータを表示します。[初期設定]
水平	水平インジケータだけ表示します。

- 3** MENU/OK ボタンを押す

インジケータが撮影画面に表示されます。

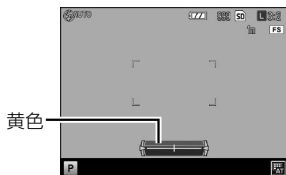
水平方向は縦線、前後方向は横線で表示され、傾いているときは黄色、傾いていないときは緑色になります。



傾きなし



右に傾いているとき



黄色

前に傾いているとき



赤色

傾きが大きいか、または
検知できなかったとき

メモ

- ・インジケータは、[セットアップ] メニューの [DISP. 表示設定] の [水準器] が ON になっているときだけ表示されます。(P.116)
- ・インジケータの表示は、[セットアップ] メニューの [水準器設定] でも設定できます。また、[セットアップ] メニューの [水準器 (アオリ方向) キャリブレーション] で、現在のカメラのアオリ方向の状態を基準として記憶させることもできます。



注意

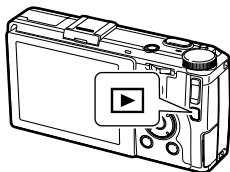
- ・カメラを上下逆にしている場合や、動画撮影中、インターバル撮影中は、水準器は動作しません。
- ・乗り物の中などのゆれている場所にいる場合や、カメラがゆれている場合は、水準器の精度が低くなります。
- ・この機能は、撮影する画像が水平かどうかを確認するための目安として使用してください。カメラ自体を水準器として使用した場合の精度は保証できません。

再生する

撮影した画像を確認します。

1 ▶ ボタンを押す

再生モードに切り替わり、最後に撮影した画像が表示されます。



2 ◀▶ ボタンで画像を切り替える

以下の操作ができます。

◀ ボタン	1 コマ前
▶ ボタン	1 コマ後ろ
◀▶ ボタン長押し	早送り

撮影モードに戻るときは、もう一度 ▶ ボタンを押します。



メモ

- 再生の順番は、[セットアップ] メニューの [再生順序設定] で [ファイル番号] [撮影日時] から選択できます。
- Eye-Fi カードを使用していて [セットアップ] メニューの [Eye-Fi 接続設定] を [ON (選択転送)] に設定しているときは、再生モードで Effect ボタンを押すと画像の転送ができます。(P.104)



縦横自動回転再生

- [セットアップ] メニューの [縦横自動回転再生] を [ON] に設定している場合、カメラの向きに応じて画像が自動回転されます。
- [連写] [オートブラケット] で撮影した画像は、1 枚目の画像の向きに合わせて自動回転されます。
- 以下の場合は、自動回転されません。
 - 動画
 - 一覧表示の場合
 - カメラを前後に傾けすぎた状態で撮影した画像
 - [斜め補正] 処理中
 - 拡大再生中
 - [スライドショー] 再生中
 - AV 機器で再生中

メニューの操作方法

1 MENU/OK ボタンを押す

メニューが表示されます。

ボタンを押したときのモードによって、最初に表示されるメニューが異なります。

メニューを切り替えるときは、◀ ボタンを押してから ▲▼ ボタンでタブを選択して ▶ ボタンを押します。



2 ▲▼ ボタンで項目を選択する

+/- ボタンを押すと、メニューの区切り(横線)の先頭にカーソルが移動します。



3 ▶ ボタンを押す

選択肢が表示されます。

4 ▲▼ ボタンで選択肢を選択する



5 MENU/OK ボタンを押す、または ▶ ボタンを押してから MENU/OK ボタンを押す

設定が確定します。



メモ

- 各メニューの詳細は、「メニュー一覧」(P.120)を参照してください。

応用編

目的に応じてお読みください

1	いろいろな撮影.....	42
2	いろいろな再生.....	87
3	カメラの設定を変更する	105
4	メニュー一覧.....	120
5	画像をパソコンに 取り込む.....	129
6	付録.....	132

1

2

3



4

5

6

1 いろいろな撮影

状況に応じて、撮影モードを選択してください。

モード	目的	参照先
	簡単に撮影したいとき	P.32
P/Av/Tv/TAv/M	絞り値やシャッタースピードを設定して撮影するとき	P.42
	動画を撮影するとき	P.84
MY1/MY2/MY3	自分好みの設定を登録して撮影するとき	P.108

絞り値・シャッタースピードを設定して撮影する

絞り値またはシャッタースピードを設定して撮影します。それぞれの値が設定できます。Mモード以外は、自動で露出調整が行われます。

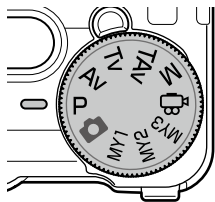
○：設定可能　—：カメラが自動的に選択

モード	絞り値	シャッタースピード	ISO感度
P プログラムシフト	△*1	△*1	○
Av 絞り優先	○	—	○
Tv シャッター優先	—	○	○
TAv シャッター&絞り優先	○	○	—
M マニュアル露光	○	○	○

*1 絞り値とシャッタースピードの組み合わせが選択可能

1 モードダイヤルをP/Av/Tv/TAv/Mに合わせる

撮影画面に選択した撮影モードのマークと設定対象の値が表示されます。
Mモードでは露出インジケータが表示されます。

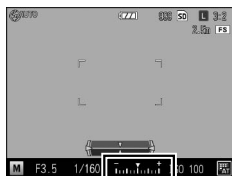


2 アップダウンダイヤルを回して値を変更する

以下の値が変更されます。

モード	アップダウンダイヤル	ADJ. レバー
Av	絞り値	—
Tv	シャッタースピード	—
TAv/M	絞り値	シャッタースピード

Mモードでは、インジケータが中央にあるときが適正露出です。露出値が-2 EV ~ +2 EVの範囲にあるときは、露出値に応じてインジケータが変化します。その範囲を超えると、インジケータがオレンジ色になります。



3 撮影する



メモ

- ・TAv/Mモード時のアップダウンダイヤルとADJ. レバーの機能を、[キーカスタム設定]メニューの[M/TAvモードダイヤル設定]で入れ替えることができます。
- ・シャッタースピードを遅く設定した場合、撮影中は画像モニターに画像が表示されません。

- ・ [撮影設定] メニューの以下の機能を設定すると、Av/Tv/TAv モードで設定した絞り値/シャッタースピードで適正露出が得られないときに、自動的に適正露出に調整されます。
 - ・ Av [絞り自動シフト]
 - ・ Tv [シャッタースピード自動シフト]
 - ・ TAv [シャッター & 絞り自動シフト]
([絞り優先] [シャッター優先] から選択)
- ・ M モードでは、**+/-** ボタンで露出補正はできません。**+/-** ボタンを押すと、適性露出に近づくように自動的に調整します。[キーカスタム設定] メニューの [M モードワンプッシュ動作] で、優先する値を選択できます。

絞り優先	絞り値を固定してシャッタースピードを調整
シャッター優先	シャッタースピードを固定して絞り値を調整
プログラム	絞り値・シャッタースピードの両方を調整

- ・ TAv モードでは、ISO 感度は [AUTO] 固定です。
- ・ M モードでは、ISO 感度の [AUTO] [AUTO-HI] は設定できません。



注意

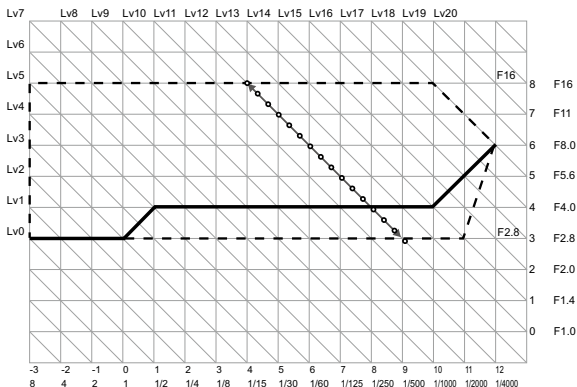
- ・ 画像モニターをオフにしているときは、絞り値やシャッター速度の変更はできません。[セットアップ] メニューの [情報表示モード] を [ON] に設定しているときは変更できます。
- ・ シャッタースピードを長く設定すると画像にノイズが発生します。[撮影設定] メニューの [長秒時ノイズ低減] を設定すると、ISO 感度とシャッタースピードの組み合わせによって、長秒時用のノイズ低減処理が行われます。ただし、画像の記録完了までに時間がかかります。

ISO 感度	低減処理開始 シャッタースピード
ISO 100 ~ ISO 3200	8 秒以上
ISO 3201 ~ ISO 25600	4 秒以上



プログラム線図

- ・ Pモードのプログラム線図は以下のとおりです。絞り値とシャッタースピードの組み合わせでシフト可能な範囲の目安で、露出値 (Ev) によって変化します。(ISO 感度を [ISO 100] に設定した場合)



バルブ／タイム



- ・ Mモードのときに、シャッタースピードでB (バルブ) / T (タイム) が選択できます。Bはシャッターボタンを押し続ける間に露光され、離すと露光が終了します。Tはシャッターボタンを押すと露光が始まり、もう一度押すと露光が終了します。
- ・ どちらも上限に達すると、自動的に撮影が終了します。

ISO 感度	シャッタースピード上限
ISO 100 ~ ISO 3200	320 秒
ISO 3201 ~ ISO 25600	32 秒

- ・ 別売りのケーブルスイッチ (CA-2) でも操作できます。
- ・ 以下の機能は使用できません。
 - ・ セルフタイマー
 - ・ インターバル撮影
 - ・ 連写
 - ・ インターバル合成
 - ・ オートブラケット
 - ・ Mモードワンプッシュ動作


- ・ B/T に設定しているときに [撮影設定] メニューの [連写] を設定すると、B/T は解除され、シャッタースピード上限値の連写になります。先に [連写] が設定されているときは、B/T は設定できません。

絞りプレビューを利用する

シャッターボタン半押しまたは AE ロック中に  ボタンを押し続けると、絞りプレビューモードになります。撮影時の絞り値まで絞りが動作し、被写界深度が確認できます。 ボタンから指を離すと解除されます。



注意

- ・ 絞りプレビューモードの状態では、シャッターボタン全押しや絞り値の変更はできません。
- ・ フラッシュ使用時は、絞りプレビューと絞り値の結果が異なる場合があります。
- ・  モードでは使用できません。



メモ

- ・ Tv モードで [オートブラケット] を設定している場合、設定されている露出補正の条件で絞りプレビューを行います。
- ・ [オートブラケット] の [AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] の設定は反映されません。
- ・ 絞りプレビューは被写界深度を確認する機能のため、AE は合わない場合があります。

ND フィルターを利用する

[撮影設定] メニューの [ND フィルター] で、カメラに内蔵されている ND フィルターを常時使用するかどうかを設定します。

OFF	[セットアップ] メニューの [ND フィルター設定] によって動作が異なります。 [AUTO] 露出が連動範囲外のときに ND フィルターを使用します。シャッターボタン半押しで撮影画面にアイコンが表示されたときに ND フィルターが使用されます。 [MANUAL] ND フィルターを使用しません。
ON	常に ND フィルターを使用します。撮影画面にアイコンが表示されます。



メモ

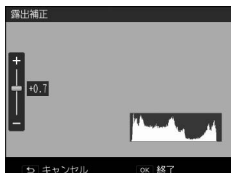
- [ND フィルター設定] を [AUTO] に設定した場合、P/M モードでは ND フィルターは使用されません。
- [キーカスタム設定] メニューの [Fn ボタン設定] に [ND フィルター] を設定すると、ボタンの操作だけで ON/OFF が切り替えられます。
(P.113)

露出に関する設定

露出を補正する

1
いろいろな撮影

- 1** +/- ボタンで値を設定する
-4.0 ~ +4.0EV の間で設定できます。
この状態で撮影することもできます。



- 2** MENU/OK ボタンを押す
撮影画面に戻り、設定値が表示されます。



- 注意** -----
・ M モード / 動画モードでは使用できません。
- メモ** -----
・ [撮影設定] メニューの [露出補正] で設定することもできます。

ISO 感度を設定する

[撮影設定] メニューの [ISO 感度・NR] で設定します。

AUTO	ISO 100～ISO 800 で、距離／明るさ／マクロ／フォーマットによってカメラが自動的に感度を変化させます。
AUTO-HI (高感度設定オート)	[AUTO] よりも感度の上限を高く設定できます。 ・ [セットアップ]メニューの [ISO AUTO-HI 設定] で、ISO 感度の上限と ISO 感度を切り替えるシャッター速度を設定できます。
ISO 100～ISO 25600	設定した ISO 感度で撮影します。



メモ

- ・ [セットアップ] メニューの [ISO 感度ステップ設定] で、ISO 感度の設定ステップを [1EV] [1/3EV] から選択できます。設定によって以下の ISO 感度が選択できます。

ISO 感度 ステップ設定	選択できる ISO 感度
1EV	ISO 100 / ISO 200 / ISO 400 / ISO 800 / ISO 1600 / ISO 3200 / ISO 6400 / ISO 12800 / ISO 25600
1/3EV	ISO 100 / ISO 125 / ISO 160 / ISO 200 / ISO 250 / ISO 320 / ISO 400 / ISO 500 / ISO 640 / ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12800 / ISO 16000 / ISO 20000 / ISO 25600

- ・ [AUTO] [AUTO-HI] のときは、シャッターボタン半押し時に ISO 感度が表示されます。フラッシュ使用時などは、実際の ISO 感度と異なる場合があります。
- ・ ISO 感度を高くすると、画質が粗くなる場合があります。
- ・ [AUTO] のときにフラッシュを使用すると、最大で ISO 1600 相当の感度まで上がります。
- ・ [撮影設定] メニューの [ダイナミックレンジ補正] を設定しているときは、設定できる ISO 感度が制限されます。(P.51)

- ・ [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[ISO] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113) 初期設定では [ADJ. レバー設定 1] に登録されています。
- ・ [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. ISO ダイレクト変更] を [ON] に設定すると、P/Av/Tv モードで ADJ. レバーを左右に倒すだけで ISO 感度を変更できます。

ノイズを軽減する

静止画のノイズを軽減させることができます。

1 [撮影設定] メニューの [ISO 感度・NR] を選択し、▶ ボタンを押す。

[ISO 感度・ノイズリダクション] 画面が表示されます。

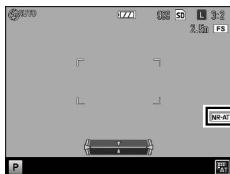
2 ▲▼ ボタンで [ノイズリダクション] を選択し、▶ ボタンを押す。

3 ▲▼ ボタンで [OFF] [AUTO] [MANUAL] を選択する
[OFF] [AUTO] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

4 ▲▼◀▶ ボタンで [強] [中] [弱] それぞれに適用する ISO 感度を指定する



5 MENU/OK ボタンを押す
[撮影設定] メニューに戻ります。
撮影画面には、マークが表示されます。



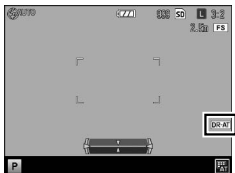
注意

- ・ ノイズリダクションを設定すると、画像の記録に時間がかかります。

ダイナミックレンジを補正する

[撮影設定] メニューの [ダイナミックレンジ補正] で、画像の階調を広げて明るい部分から暗い部分まで表現できるようにします。
[OFF] [AUTO] [弱] [中] [強] が選択できます。

ダイナミックレンジ補正を設定すると、撮影画面にマークが表示されます。



注意

- ダイナミックレンジ補正を設定すると、設定できる ISO 感度が制限されます。

設定	ISO 感度ステップ設定 [1EV]		ISO 感度ステップ設定 [1/3EV]	
	最小感度	最大感度	最小感度	最大感度
AUTO	ISO 200	ISO 6400	ISO 320	ISO 8000
弱	ISO 200	ISO 12800	ISO 160	ISO 16000
中	ISO 200	ISO 12800	ISO 200	ISO 12800
強	ISO 200	ISO 6400	ISO 320	ISO 8000

- ダイナミックレンジ補正を設定すると、ISO 感度の [AUTO-HI] は [AUTO] で動作します。
- [強] に設定すると、画像にノイズが発生しやすくなります。
- 以下のときは、ダイナミックレンジ補正は設定できません。
 - 連写
 - 多重露光撮影
 - インターバル撮影
 - インターバル合成
- 撮影場所が明るすぎたり暗すぎたりする場合、ダイナミックレンジ補正の効果が出ない場合があります。





メモ

- ・ダイナミックレンジ補正を利用するときは、測光を [マルチ] に設定することを推奨します。(P.52)
- ・[キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[D レンジ補正] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113)

1

測光方法を選択する


[撮影設定] メニューの [測光] で設定します。

マルチ	撮影範囲全体を 484 に分割して、総合的に判断します。[初期設定]
 中央	中央部分に重点を置きつつ、全体を測光して判断します。中央と周辺の明るさが異なるときに使います。
 スポット	中央部分を測光して判断します。中央の明るさに強制的に合わせたいときに使います。逆光やコントラストの差が著しいときなどに役立ちます。

[中央] [スポット] を選択した場合は、撮影画面にマークが表示されます。



メモ

- ・以下の場合は、[マルチ] 固定です。
 - ・フォーカス [被写体追尾 AF]
 - ・ モード
- ・AE/AF / AE ターゲット移動時は、[スポット] 固定です。
- ・[キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[測光] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113) 初期設定では [ADJ. レバー設定 5] に登録されています。

静止画のフォーマットを設定する

[撮影設定] メニューの [撮影画像フォーマット] で、静止画のフォーマット・サイズ・アスペクト比を設定します。

フォーマット・サイズ	RAW : L サイズの RAW ファイル (DNG 形式) を記録します。 RAW+ : RAW ファイルと L サイズの JPEG ファイルを同時に記録します。 L : 16M (3:2) M : 10M (3:2) S : 5M (3:2) XS : 1M (3:2)
アスペクト比	3:2 / 4:3 / 1:1



メモ

- アスペクト比が [3:2] [1:1] のときは、画像モニターの下または左右が黒く表示されます。
- [キーカスタム設定] メニューの [ADJ.レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[画像サイズ] [アスペクト比] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113) 初期設定では [ADJ.レバー設定 2] に [画像サイズ]、[ADJ.レバー設定 3] に [アスペクト比] が登録されています。
[キーカスタム設定] メニューの [Fn ボタン設定] に [JPEG → RAW] [JPEG → RAW+] を設定すると、ボタンの操作だけでファイル形式を切り替えることができます。
- [撮影設定] メニューの [35mm クロップ] を [ON] に設定すると、画角が通常の 28mm から 35mm になり、画面の表示も変更されます。この場合 **L** は選択できなくなり、RAW ファイルは **M** で記録されます。また、[キーカスタム設定] メニューの [Fn ボタン設定] に [35mm クロップ] を設定すると、ボタンの操作だけで 28mm / 35mm が切り替えられます。(P.113)



RAWでの撮影

- RAW ファイルは [再生設定] メニューの [RAW 現像]、または付属の「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE for PENTAX RICOH IMAGING」を使用して加工できます。(P.99、P.129)
- RAW ファイルには、以下の機能は反映できません。[エフェクト] [ダイナミックレンジ補正] は、[再生設定] メニューの [RAW 現像] で JPEG 形式に変換するときには反映できます。
 - エフェクト
 - ダイナミックレンジ補正
 - 日付入れ撮影



RAW+ に設定したときは、上記の機能が JPEG ファイルにのみ反映されます。

フォーカスを設定する

フォーカス方法を選択する

[撮影設定] メニューの [フォーカス] で設定します。

マルチ AF	9箇所の AF エリアから測距し、最も近い位置にピントを合わせます。中抜けを防止し、ピンボケの少ない撮影ができます。[初期設定]
スポット AF	AF エリアを中央に固定し、ピントを合わせます。
ピンポイント AF	スポット AF より小さいエリアでピントを合わせます。
被写体追尾 AF	被写体を追尾してピントを合わせ続けます。 シャッターボタンを半押しすると、画像モニター中央の枠内の被写体が追尾対象として設定され、緑色のターゲットマークが表示されます。追尾対象が見つからない場合は、枠が赤く点滅します。 撮影後、または以下のときに自動追尾が解除されます。 <ul style="list-style-type: none"> 追尾対象がフレームから外れたとき シャッターボタンを離したとき
MF MF (マニュアルフォーカス)	手動でピントを合わせます。(P.56)

 スナップ	設定した距離にピントを固定します。(P.56)
 ∞ (無限遠)	無限遠にピントを固定します。遠くの風景などを撮影するときに使います。



メモ

- ・ [キーマスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[フォーカス] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113) 初期設定では [ADJ. レバー設定 4] に登録されています。
[Fn ボタン設定] に以下を設定すると、ボタン操作だけでフォーカスが切り替えられます。
 - ・ マルチ AF/ スポット AF
 - ・ マルチ AF/ ピンポイント AF
 - ・ AF/MF
 - ・ AF/ スナップ
 - ・ AF/ 被写体追尾
- ・ [被写体追尾 AF] では、以下の機能は使用できません。
 - ・ セルフタイマー [カスタムセルフ]
 - ・ インターバル撮影
 - ・ インターバル合成
 - ・ FA・ターゲット移動

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

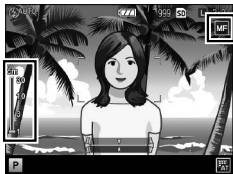
オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせます。

マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影できます。

1 [撮影設定] メニューの [フォーカス] で [MF] を選択する

撮影画面にマークとフォーカスバーが表示されます。

P/Av/TAv/Mモードとインターバル合成時は、被写界深度の目安が表示されます。



2 ▲ ボタンを押しながらアップダウンダイヤルでピントを合わせる

設定した距離にピントを固定する（スナップ）

1 [撮影設定] メニューの [スナップ時フォーカス距離] を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで距離を選択し、◀ ボタンを押す

[1m] [1.5m] [2m] [2.5m] [5m] [∞] が選択できます。

3 MENU/OK ボタンを押す

4 [撮影設定] メニューの [フォーカス] で [スナップ] を選択する

設定した距離にピントが合うようになります。

距離を変更するときは、▲ ボタンを押しながらアップダウンダイヤルを操作します。



メモ

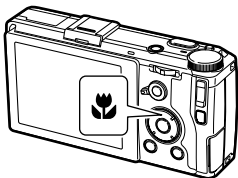
- ・ [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[スナップフォーカス距離] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113)

接写する (マクロ撮影)

レンズ先端より最短約 10cm (撮影範囲: 約 12 × 8cm) まで近づいて撮影することができます。


1

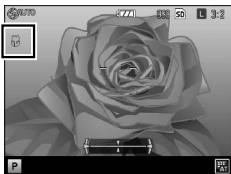
撮影モードで  (▲) ボタンを押す
撮影画面に  が表示されます。



2

撮影する

マクロを解除するときは、もう一度  ボタンを押します。






メモ

- ・ フォーカスは [スポット AF] [ピンポイント AF] で動作します。



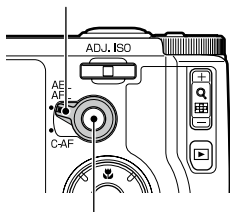
注意

- ・ フォーカスが [MF] のときは  ボタンは無効となり、マクロ撮影はできません。
- ・  モードのときはオートマクロとなり、 ボタンは無効です。

AF ボタンを利用する

AF ボタンを利用すると、シャッターボタン半押し代わりに AE ロックまたは AF ロックができます。

AF ファンクション切り替えレバーで AF ボタンの機能を切り替えます。



AF ボタン

AF ファンクション切り替えレバーが AEL/AFL

[キーカスタム設定] メニューの [AEL/AFL 設定] に従って動作します。

[AEL/AFL 設定]	[フォーカス] 設定	AF ボタンのロック動作
AFL	マルチ AF / スポット AF / ピンポイント AF	[フォーカス] 設定に従ってピントを合わせてフォーカスをロックします
	被写体追尾 AF / MF / スナップ / ∞	[マルチ AF] でピントを合わせてフォーカスをロックします
AEL・AFL	マルチ AF / スポット AF / ピンポイント AF	AE をロックし、[フォーカス] 設定に従ってピントを合わせてフォーカスをロックします
	被写体追尾 AF / MF / スナップ / ∞	AE をロックし、[マルチ AF] でピントを合わせてフォーカスをロックします
AEL		AE をロックします

[キーカスタム設定] メニューの [AEL/AFL ロック維持設定] で、ボタンを離してもロック状態を維持するかどうか設定できます。

OFF	ボタンを押している間だけロックします。
ON	ボタンを押すとロックされ、もう一度押すとロックが解除されます。



メモ

- ・ AF ロックができなかったときや AF ロックを解除したときは、[フォーカス] 設定のフォーカス位置に移動します。
- ・ AF ボタンでロックされているときは、シャッターボタンを半押ししても AE/AF ロック位置は変更されません。

AF ファンクション切り替えレバーが C-AF

[フォーカス] の設定にかかわらず AF ボタンを押している間、被写体にピントを合わせ続ける「コンティニュアス AF」を行います

AF ボタンを押しているときにシャッターボタンを全押しすると、[キーカスタム設定] メニューの [C-AF 連写設定] に従って連写ができます。AF ボタンを離すと連写が終了します。

OFF	[撮影設定] メニューの [連写] が設定されているときだけ連写します。
AF 優先連写	シャッターボタンを押している間、1 枚ずつピントを合わせながら連続撮影します。
コマ速度優先連写	シャッターボタンを押している間、連続撮影します。フォーカスは固定です。(P.67)



注意

- ・ 動画撮影中は、コンティニュアス AF はできません。



メモ

- ・ ピントが合うと緑の枠が表示されます。フォーカスが合ったときの音は鳴りません。
- ・ [フォーカス] 設定が [MF] のときは、AF ボタンを離したところでフォーカスロックができます。人差し指をシャッターボタンに置き、親指で AF ボタンを操作すると便利です。

フォーカスアシスト・AE/AF ターゲットを設定する

カメラを動かさずにボタン操作だけで被写体の特定の部分を測光し、フォーカスロックができます。三脚を使った撮影時に便利です。

画面の一部を拡大して表示したり、輪郭やコントラストを強調してピントを合わせやすくすることもできます。

1 [撮影設定] メニューの [FA・ターゲット移動] を選択し、▶ ボタンを押す

ターゲットを設定する画面が表示されます。

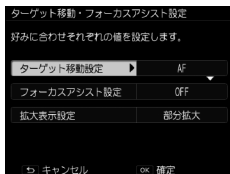
2 ターゲットの位置と大きさを設定する



以下の操作ができます。

▲▼◀▶ ボタン	ターゲットを移動します。
アップダウン ダイヤル	部分拡大時：表示領域を変更します。 全体拡大時：拡大倍率が等倍のときに、フォーカスアシストの領域の大きさを変更します。
+/- ボタン	拡大倍率を 2 倍 / 4 倍 / 8 倍に変更します。

3 詳細設定をするときは Fn2 ボタンを押す



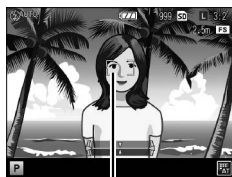
以下の設定ができます。

ターゲット移動設定	移動するターゲットを AE・AF/AF/AE から指定します。
フォーカスアシスト設定	エリア内の輪郭やコントラストを強調してピントを合わせやすくします。 [MODE1] 輪郭とコントラストを強調 [MODE2] 輪郭を強調 [MODE3] MODE1 を白黒反転 [MODE4] MODE2 を白黒反転
拡大表示設定	拡大する範囲を指定します。 [部分拡大] ターゲット周辺を拡大し、背景に重ねて表示します。全体の構図を見ながらピントが確認できます。 [全体拡大] ターゲット周辺を画面全体に表示し、全体を拡大したままターゲットを移動します。[部分拡大] より細かくピントが確認できます。

OK ボタンを押すと、手順 2 の画面に戻ります。

4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。



ターゲット

注意

- 以下の場合は、フォーカスアシスト/ターゲット移動は設定できません。
 - フォーカス [被写体追尾 AF]
 - 📷 モード / 📷 モード

**メモ**

- ・ [フォーカス] を [被写体追尾 AF] に変更すると、ターゲット位置はリセットされます
- ・ [フォーカス] が [MF] に設定されているときは、ターゲット移動設定は AE/MF/MF/AE になります。
- ・ [拡大表示設定] を [全体拡大] にした場合、全体を拡大表示したままターゲットを移動します。拡大倍率は、**+**/**-** ボタンで変更できません。
- ・ [キーマス設定] メニューの [Fn ボタン設定] に、[FA・ターゲット移動] を登録して使用することもできます。(P.113) 初期設定では Fn1 ボタンに登録されています。

シャッター一気押しで撮影する (フルプレススナップ)

シャッターボタンを半押しすると AF が動作しますが、シャッターボタンを一気に押し込んだときに、設定した距離で撮影する速写機能を「フルプレススナップ」といいます。[撮影設定] メニューの [スナップ時フォーカス距離] で設定した距離 (P.56) にピントを合わせて撮影します。

[撮影設定] メニューの [フルプレススナップ] で設定します。

OFF	通常の AF 撮影と同じ動作です。
ON	フルプレス時に、[スナップ時フォーカス距離] で設定した距離にピントを合わせて撮影します。
ON ISO AUTO HI	フルプレス時に [スナップ時フォーカス距離] で設定した距離にピントを合わせ、ISO 感度を [AUTO-HI] で撮影します。

**注意**

- ・ 以下のときは、フルプレススナップはできません。
 - ・ マクロ
 - ・ セルフタイマー
 - ・ モード












**メモ**



- ・ [フルプレススナップ] が [ON] の場合でも、シャッターボタンを半押しすると [フォーカス] の設定でピントを合わせます。

ホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスを設定して、白い被写体がどのような光の下でも白く写るように調整を行います。

初期設定では [マルチパターン AUTO] に設定されています。単一色の被写体や、複数の光源下にある被写体を撮影するときなど、ホワイトバランスが思いどおりに表現できない場合には、設定を変更します。

 AUTO	自動的に調整します。
 マルチパターン AUTO	日向/日陰、フラッシュなど、光源が混在する場合でも、分割した領域ごとの光源に合わせて、カメラが自動的に最適なホワイトバランスを調整します。[初期設定]
 屋外	晴天での撮影時に使用します。
 日陰	日陰での撮影時に使用します。
 曇天	曇天での撮影時に使用します。
 白熱灯 1	白熱灯の下での撮影時に使用します。
 白熱灯 2	[白熱灯 1] より赤みを残して撮影します。
 昼光色蛍光灯	昼光色蛍光灯での撮影時に使用します。
 昼白色蛍光灯	昼白色蛍光灯での撮影時に使用します。
 白色蛍光灯	白色蛍光灯での撮影時に使用します。
 電球色蛍光灯	電球色蛍光灯での撮影時に使用します。

 詳細設定	色温度で指定します。(P.65)
 手動設定	手動設定を行います。(P.66)

1

いろいろな撮影

1 撮影モードで WB (▼) ボタンを押す
 [ホワイトバランス] 画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで設定を選択する
 補正が必要ない場合は、手順6に進みます。
 [詳細設定] [手動設定] の場合は P.66
 を参照してください。



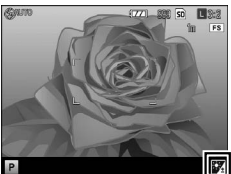
3 Fn2 ボタンを押す
 [ホワイトバランス補正] 画面が表示され
 ます。

4 ▲▼◀▶ ボタンでポイント位置を調整
 する
 リセットする場合は、↶ ボタンを押しま
 す。もう一度 ↶ ボタンを押すと、補正が
 キャンセルされます。



5 MENU/OK ボタンを押す
 手順2の画面に戻ります。

6 MENU/OK ボタンを押す
 撮影画面に戻り、画面にマークが表示さ
 れます。





メモ

- ・ [撮影設定] メニューの [ホワイトバランス] で設定することもできます。



注意

- ・ 被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。
- ・ フラッシュを使用して撮影する場合、[AUTO] [マルチパターン AUTO] 以外ではホワイトバランスが合わないことがあります。

色温度で設定する

1 ホワイトバランスの [詳細設定] を選択し、Fn2 ボタンを押す [ホワイトバランス詳細設定 [CT]] 画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで値を設定する

2500 ~ 10000K が設定できます。

Fn2 ボタンを押すと、ホワイトバランス補正ができます。もう一度 Fn2 を押すと、色温度の設定に戻ります。




3 MENU/OK ボタンを押す

[ホワイトバランス] 画面に戻ります。

4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。


ホワイトバランスを手動設定する

- 1 ホワイトバランスの [手動設定] を選択する
 - 2 撮影する照明の下で、紙などの白い被写体にカメラを向ける
 - 3 Fn2 ボタンを押す
ホワイトバランスが測定されます。
 - 4 MENU/OK ボタンを押す
撮影画面に戻ります。
-  **メモ** -----
- ・フラッシュが発光する状態で Fn2 ボタンを押すと、フラッシュ発光時のホワイトバランスを測定できます。

連続して撮影する

以下の機能があります。

連写	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。	P.67
オートブラケット	露出/ホワイトバランス/エフェクト/ダイナミックレンジ/コントラストを変化させた画像を3枚撮影します。	P.68
多重露光撮影	複数の画像を合成します。	P.69
インターバル撮影	一定の間隔で自動撮影します。	P.71
インターバル合成	連続撮影した画像の明るい部分を残すように合成します。	P.72

-  **注意** -----
- ・上記のうち、オートブラケットとインターバル撮影のみ組み合わせで使用することができます。それ以外の機能は、同時に設定できません。

連写で撮影する

[撮影設定] メニューの [連写] で設定します。

シャッターボタンを押している間、連続撮影ができます。AF は 1 枚目に固定されます。

連写を設定すると、撮影画面にマークが表示されます。



通常の撮影に戻りたいときは、[連写] を [OFF] に設定します。

注意

- ・フラッシュは使用できません。
- ・[撮影設定] メニューの [エフェクト] を [ハイコントラスト白黒] [ミニチュアライズ] [ハイキー] に設定している場合、連写はできません。

メモ

- ・ホワイトバランスが [マルチパターン AUTO] に設定されている場合は、ホワイトバランスは [AUTO] で動作します。
- ・AF ボタンを押しながらシャッターボタンを全押しして連写することもできます。「AF ボタンを利用する」(P.58) を参照してください。
- ・連写の連続撮影可能枚数は、最大 999 枚です。
- ・連写撮影中にファイル番号の下 4 桁が「9999」を超えると、メモリーカード内に別フォルダーが作成されて連写が継続されます。
- ・メモリーカードに記録されているデータが 10000 ファイルを超えた場合、フォルダー番号/ファイル番号が小さいファイルは再生できません。
- ・[キーカスタム設定] メニューの [ADJ.レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[連写] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113)

設定を変化させて連続撮影する（オートブラケット）

[撮影設定] メニューの [オートブラケット] では、露出値やホワイトバランスなどを変化させて連続して3枚撮影します。

BKT AE AE-BKT 1/3EV AE-BKT 1/2EV	-2.0EV ~ +2.0EV の範囲で、1/3EV ステップまたは1/2EV ステップの露出差の画像を撮影します。
BKT WB WB-BKT	設定されているホワイトバランスの値よりも、赤みがかかった画像 / 現在の設定 / 青みがかかった画像の3枚を記録します。
BKT WB2 WB-BKT プリセット	ホワイトバランスを変更した画像を3枚撮影します。2枚目 / 3枚目のホワイトバランスをそれぞれ選択します。
BKT Effect Effect-BKT	エフェクトを変更した画像を3枚撮影します。2枚目 / 3枚目のエフェクトをそれぞれ選択します。
BKT DR DR-BKT	ダイナミックレンジ補正を OFF / 弱 / 強に変更した画像を撮影します。
BKT CONT CONTRAST-BKT	コントラストを変化させた画像を撮影します。

注意

- ・フラッシュは使用できません。
- ・Tv モードでは、[AE-BKT 1/2EV] は選択できません。
- ・[撮影設定] メニューの [エフェクト] を [ミニチュアライズ] に設定している場合、[AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] [DR-BKT] は使用できません。

メモ

- ・[AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] [DR-BKT] を選択し、ホワイトバランスが [マルチパターン AUTO] に設定されている場合は、ホワイトバランスは [AUTO] で動作します。
- ・[キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[オートブラケット] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113)

露出値を変化させて連続撮影する

1 [撮影設定] メニューの [オートブラケット] で [AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] を選択し、▶ ボタンを押す
[AE ブラケット設定] 画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンで 1～3 枚目を選択し、▲▼ ボタンで露出値を設定する



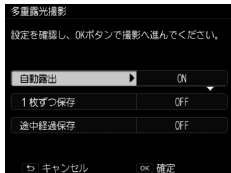
3 MENU/OK ボタンを押す
[撮影設定] メニューに戻ります。

画像を合成しながら撮影する (多重露光撮影)

画像を合成しながら撮影します。最大で 5 枚の画像を合成できます。

1 [撮影設定] メニューの [多重露光撮影] を選択し、▶ ボタンを押す
[多重露光撮影] 画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで項目を選択し、[ON]
[OFF] を設定する



自動露出	[OFF] 露光量を調整しません。 [ON] 撮影枚数に応じて露光量を調整しながら合成します。
1枚ずつ保存	[OFF] 最終的な合成画像のみ保存します。 [ON] 合成されていない各画像を保存します。
途中経過保存	[OFF] 最終的な合成画像のみ保存します。 [ON] 合成ごとに画像を保存します。

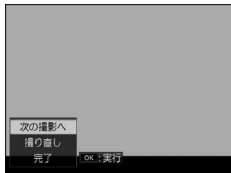
3 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に [多重露光撮影] と表示されます。

4 1枚目の画像を撮影する

5 次の画像を撮影するときは [次の撮影へ] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

撮影をやり直す場合 [撮り直し] を選択します。



6 次の画像を撮影する

手順 5～6 を繰り返します。

1つ前の合成画像に戻るときは [撮り直し] を選択します。多重露光撮影を終了するときには [完了] を選択します。

5枚の撮影が終わったときまたは [完了] を選択すると、合成された画像が保存されます。



メモ

- ・ [キーマスタード設定] メニューの [Fn ボタン設定] に [多重露光] を設定すると、ボタンの操作だけで多重露光撮影が開始できます。
(P.113)



注意

- ・ 多重露光撮影中に [35mm クロップ] に切り替えることはできません。

一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

設定した時間間隔で、自動的に撮影します。

- 1 [撮影設定] メニューの [インターバル撮影] を選択し、▶ ボタンを押す

[インターバル撮影] 画面が表示されます。

- 2 ◀▶ ボタンで時間/分/秒を選択し、▲▼ ボタンで値を設定する

時間間隔は、1 秒 / 2 秒 / 5 秒 ~ 1 時間 (5 秒単位) が設定できます。



- 3 ◀▶ ボタンで撮影枚数を選択し、▲▼ ボタンで値を設定する

1 ~ 99 / ∞ が設定できます。

- 4 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に [インターバル撮影] と表示されます。

- 5 シャッターボタンを押して撮影する

設定した間隔で、次々と撮影されます。

- 6 撮影を終了するときは、MENU/OK ボタンを押す

🚫 注意

- ・ 撮影の設定によって、次の撮影が可能になるまでの時間がインターバル撮影の設定時間よりも長くなることがあります。
- ・ セルフタイマーは使用できません。
- ・ フォーカスが [被写体追尾 AF] に設定されているときは、インターバル撮影は設定できません。

🔋 メモ

- ・ 電源をオフにすると、インターバル撮影は解除されます。
- ・ 十分に残量のあるバッテリーまたは別売りの AC アダプター (AC-5c) のご使用をお勧めします。
- ・ 十分に空き容量のあるメモリーカードまたは高速メモリーカードのご使用をお勧めします。

星の光跡などを記録する（インターバル合成）

設定した間隔で連続撮影した画像の明るい部分を残すように合成します。定位置の夜景撮影で、星や月の光跡を記録したいときなどに使用します。

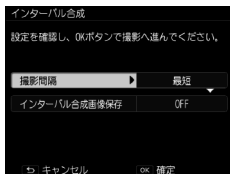
1 カメラを三脚に固定する

2 モードダイヤルを Av/Tv/TAв/M に合わせて試し撮りを行う

絞り値/シャッタースピード/フォーカス/ISO 感度/ホワイトバランスを設定し、構図を確認します。この露出を維持して合成されます。

3 [撮影設定] メニューの [インターバル合成] を選択する 手順 2 の設定が引き継がれます。

4 ▲▼ ボタンで項目を選択して設定 を変更する



撮影間隔	撮影の間隔を最短～60分で設定します。
インターバル合成画像保存	画像の保存方法を設定します。 [OFF] 合成画像のみを保存します。 [1枚ずつ保存] 合成されていない各画像と合成画像を保存します。 [途中経過保存] 各合成段階の画像を保存します。

5 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に [インターバル合成] と表示されます。

6 シャッターボタンを全押しする

1 枚目の画像が撮影され、設定した間隔で連続撮影されます。

合成中の画像を確認するときは、シャッターボタンを半押しします。

シャッターボタンを全押しすると、インターバル合成を継続したままその時点の合成画像を保存し、新たに合成を開始します。

7 撮影を終了するときは、MENU/OK ボタンを押す

合成された画像が保存されます。

注意








- 撮影中に MENU/OK ボタンを押したときは、その画像は合成されません。
- フラッシュは使用できません。
- [ISO 1600] より高い ISO 感度は設定できません。
- 60 秒より長いシャッタースピードは設定できません。
- [フォーカス] が [被写体追尾 AF] に設定されているときは、インターバル合成はできません。
- [撮影設定] メニューの [長秒時ノイズ低減] を [ON] に設定していてノイズ低減処理が行われる場合 (P.44) は、光跡につながりません。


メモ

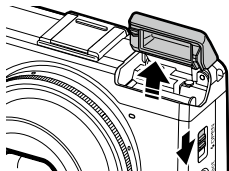
- 以下の設定は、1 枚目撮影時の値で固定されます。
 - ISO 感度 [AUTO] [AUTO-HI] 時の ISO 感度
 - ホワイトバランス [AUTO] 時のホワイトバランス値
- AF 動作は、1 枚目撮影時のみ行われます。
- セルフタイマーは、1 枚目撮影時のみ使用できます。
- 星の光跡を撮影する場合は、フォーカスを [∞]、[撮影間隔] を [最短] に設定すると、きれいに仕上がります。また、試し撮りのときに星が点で撮影されていることを確認してください。合成されることで、点が光跡となって記録されます。
- 暗い場所での撮影は、別売りの外部ファインダー (GV-1/GV-2) を使用すると便利です。

フラッシュを使用する

フラッシュモードを設定する

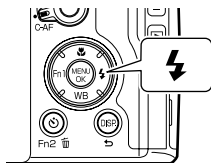
 AUTO	逆光や被写体が暗いときに、自動的にフラッシュを発光します。[初期設定]
 強制発光	常にフラッシュを発光します。
 スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして発光します。人物を入れた夜景の撮影に適します。手ブレしやすいので、三脚の使用をお勧めします。
 マニュアル発光	フラッシュの発光量を [撮影設定] メニューの [フラッシュマニュアル発光量] で設定します。(P.77)
 赤目軽減 AUTO	人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。
 赤目軽減 強制発光	赤目現象を軽減しながら強制発光します。
 赤目軽減 スローシンクロ	赤目現象を軽減しながらスローシンクロ発光します。

- 1**  OPEN スイッチを下にスライドする
フラッシュがポップアップします。



2 ⚡ (▶) ボタンを押す

フラッシュモードを設定する画面が表示されます。



3 ◀▶ ボタンで切り替える

撮影画面にマークが表示されます。



メモ

- フラッシュカバーを閉じているときは、フラッシュモードは変更できません。
- ISO 感度が [AUTO] の場合、フラッシュ光が届く範囲はレンズ先端より約 20cm ~ 3.0m です。
- フラッシュ発光時は、AE の精度を補助するために予備発光が行われます。[マニュアル発光] では、予備発光は行われません。
- フラッシュ光量は、[撮影設定] メニューの [フラッシュ調光補正] で調整できます。(P.76)



注意

- 以下の場合、フラッシュは発光しません。
 - 連写
 - オートブラケット
 - インターバル合成
 - 色モード
- 外部フラッシュ/コンバージョンレンズ/フードを使用する場合は、フラッシュをポップアップしないでください。

フラッシュの光量を調整する

フラッシュの光量を調整します。

- 1 [撮影設定] メニューの [フラッシュ調光補正] を選択し、▶ ボタンを押す

[フラッシュ調光補正] 画面が表示されます。

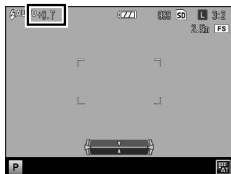
- 2 +/- ボタンで値を設定する

-2.0 ~ +2.0 EV の間で、1/3 EV 間隔で調整できます。



- 3 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に設定値が表示されます。



メモ

- ・フラッシュモードが [マニュアル発光] のときは、[フラッシュ調光補正] の設定値は無効です。
- ・[キーカスタム設定] メニューの [ADJ.レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[調光補正] を登録して使用することもできます。
(P.111、P.113)

マニュアル発光の発光量を設定する

フラッシュモードを [マニュアル発光] に設定した場合の、内蔵フラッシュの発光量を設定します。

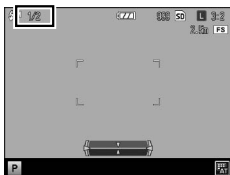
1 [撮影設定] メニューの [フラッシュマニュアル発光量] を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで値を選択する

最大発光量に対して、[FULL] [1/1.4] [1/2] [1/2.8] [1/4] [1/5.6] [1/8] [1/11] [1/16] [1/22] [1/32] [1/64] が選択できます。

3 MENU/OK ボタンを押す

フラッシュを [マニュアル発光] に設定すると、撮影画面に設定値が表示されます。



メモ

- ・ [キーカスタム設定] メニューの [ADJ.レバー設定] または [Fn ボタン設定] に、[マニュアル発光] を登録して使用することもできます。(P.111、P.113)

フラッシュ発光のタイミングを設定する

[撮影設定] メニューの [フラッシュシンクロ設定] で、フラッシュが発光するタイミングを設定できます。









先幕	露光開始直後にフラッシュが発光します。[初期設定]
後幕	露光が終わる直前のタイミングで発光します。動いている被写体を低速のシャッタースピードで撮影するときなどに、光跡や被写体の軌跡をより自然に表現できます。

写真の雰囲気を変えて撮影する

彩度やコントラストなどを変更した画像が撮影できます。

エフェクト

色調などを変更して、特徴的な画像を撮影します。

 白黒	白黒の画像です。 [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定 できます。
 白黒 (TE)	白黒画像に色味を付けます。 [調色] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周 辺減光] が設定できます。
 ハイコントラスト 白黒	[白黒] よりもコントラストを強調して撮影します。 超高感度フィルムを使用したり増感現像したようなざ らついた印象の画像が撮影できます。 [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定 できます。
 クロスプロセス	実際の色とは異なる色合いの画像を撮影します。 [色調] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周 辺減光] が設定できます。
 ポジフィルム調	ポジフィルムで撮影したような彩度の高い画像が撮影 できます。 [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。
 ブリーチバイパス	彩度を低くし、コントラストを高めにした画像が撮影 できます。 [色調] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周 辺減光] が設定できます。
 レトロ	古い写真のような画像を撮影します。 [彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] が設定できます。
 ミニチュアライズ	風景などをミニチュアのように撮影します。 [調色] [彩度] [コントラスト] [シャープネス] と、 画像の中のぼかす位置・範囲が設定できます。 (P.81)






ハイキー

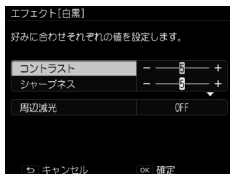
明るい雰囲気の写真撮影します。
[彩度] が設定できます。

画像設定

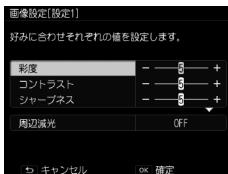
彩度／コントラスト／シャープネス／周辺減光を調節して撮影します。

 ビビッド	コントラスト／シャープネス／彩度を [スタンダード] より高くて、硬い感じの画質にします。
 スタンダード	通常の画質です。画像設定をオフにするときは、これを選択します。[初期設定]
 設定 1/2	[彩度] [コントラスト] [シャープネス] [周辺減光] を設定します。

- 1 [撮影設定] メニューで [エフェクト] [画像設定] を選択し、
▶ ボタンを押す
- 2 ▲▼ ボタンで設定を選択する
[ビビッド] [スタンダード] を選択した場合は、手順 5 に進みます。
- 3 ▶ ボタンを押す
- 4 ▲▼ ボタンで項目を選択し、◀▶ ボタンで値を設定する



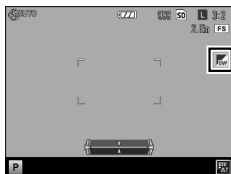
エフェクト [白黒]




画像設定 [設定 1]

5 MENU/OK ボタンを押す

〔撮影設定〕メニューに戻ります。
撮影画面には、マークが表示されます。



注意

- ・〔エフェクト〕を設定したときは、〔画像設定〕は無効です。
- ・モードのときは、〔周辺減光〕は設定できません。
- ・RAW ファイルに〔エフェクト〕〔画像設定〕は反映されません。
- ・以下の機能はエフェクトと併用できません。

機能	エフェクト
動画	ハイコントラスト白黒／ミニチュアライズ／ハイキー
多重露光撮影／ インターバル合成	ミニチュアライズ

- ・設定したエフェクトによって、以下の機能は無効になります。

エフェクト	無効になる機能
ハイコントラスト白黒	連写
ハイコントラスト白黒 ／クロスプロセス/ ポジフィルム調/ ブリーチバイパス/ レトロ/ ミニチュアライズ	フォーカス [被写体追尾 AF]
ミニチュアライズ	連写／オートブラケット [AE-BKT 1/3EV] [AE-BKT 1/2EV] [DR-BKT]

メモ

- ・〔キークスタム設定〕メニューの〔ADJ.レバー設定〕または〔Fn ボタン設定〕に、〔エフェクト〕〔画像設定〕を登録して使用することもできます。(P.111, P.113) 初期設定では Effect ボタンに〔エフェクト〕が登録されています。

ミニチュアライズで撮影する

ミニチュアを接写したような印象の画像を撮影できます。高い場所から斜め下方向に見下ろした風景を撮影すると効果的です。

1 [撮影設定] メニューの [エフェクト] で [ミニチュアライズ] を選択し、▶ ボタンを押す。

[エフェクト [ミニチュアライズ]] 画面が表示されます。

2 ▲▼◀▶ ボタンで設定を変更し、MENU/OK ボタンを押す

3 MENU/OK ボタンを押す

ミニチュアライズの撮影画面になります。

ぼかさない部分（注目エリア）以外が半透明のグレーで表示されます。

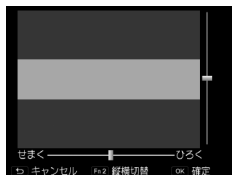
4 Fn2 ボタンを押す

ぼかす位置と範囲を設定する画面が表示されます。

5 ▲▼ ボタンで注目エリアの位置を移動する

この画面で Fn2 ボタンを押すと、注目エリアの縦・横を変更できます。

6 ◀▶ ボタンで注目エリアの幅を設定する



7 MENU/OK ボタンを押す

撮影画面に戻ります。



メモ

- ・撮影直後に表示される確認画像と実際の画像では、ぼけ具合が多少異なります。

その他の撮影機能

静止画に日付を入れる

[撮影設定] メニューの [日付入れ撮影] で [日付] [日時] を選択すると、静止画の右下に日付（年／月／日）または日時（年／月／日 時：分）を入れて撮影できます。

日付入れ撮影を有効にすると、撮影画面にマークが表示されます。



注意

- ・日付・時刻が設定されていない場合、[日付入れ撮影] はできません。あらかじめ日付・時刻を設定してください。(P.30)
- ・RAW ファイルと動画に日付は入れられません。
- ・画像に入れた日付は削除できません。

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影します。

動画は、MOV ファイルで記録されます。

動画のフォーマットを設定する

1

モードダイヤルを  に合わせる

動画モードになります。

2

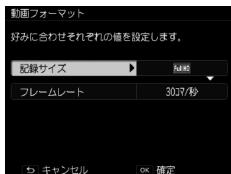
MENU/OK ボタンを押す

動画モードの [撮影設定] メニューが表示されます。

3

[動画フォーマット] を選択し、▶ ボタンを押す

4 ▲▼◀▶ ボタンで [記録サイズ] [フレームレート] を選択する



以下の設定ができます。記録サイズによって選択できるフレームレートが異なります。

記録サイズ	フレームレート (コマ/秒)				
	60	50	30	25	24
Full HD (1920 × 1080)	×	×	○	○	○
HD (1280 × 720)	○	○	○	○	○
VGA (640 × 480)	×	×	○	○	○

5 MENU/OK ボタンを押す

[撮影設定] メニューに戻ります。



メモ

- [キーカスタム設定] メニューの [Fn ボタン設定] に、[フレームレート] を登録して使用することもできます。(P.113)
- 蛍光灯の下で撮影する場合は、画面がちらつくことがあります。動画モードで表示される [撮影設定] メニューの [蛍光灯ちらつき低減] でご使用の地域の電源周波数に設定すると、ちらつきを抑えることができます。

動画を撮影する

1 モードダイヤルを **MOV** に合わせる

2 シャッターボタンを押す

動画の撮影が開始されます。

撮影中は「● REC」が点滅し、記録時間と残り記録時間が表示されます。



3 もう一度シャッターボタンを押す

撮影が終了します。

注意

- ・撮影中にカメラを操作すると、動作音なども記録されます。
- ・**MOV** モードでは、以下の機能は使用できません。
 - ・フラッシュ
 - ・FA・ターゲット移動

メモ

- ・撮影中に Fn2 ボタンを押すと、記録が一時停止します。もう一度 Fn2 ボタンを押すと記録が再開します。
- ・1回の撮影で記録できる動画は、最大 25 分または 4GB までです。
- ・1回あたりの撮影可能時間は、ご使用のメモリーカードによって異なります（**参照** P.141）。また撮影可能時間内でも、撮影が終了する場合があります。
- ・残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、時間の変化が一定でないことがあります。
- ・動画撮影時は、スピードクラスが Class6 以上の SD メモリーカードを使用してください。
- ・十分に残量のあるバッテリーまたは別売りの AC アダプター (AC-5c) のご使用をお勧めします。

動画を再生する

1 再生ボタンを押す

再生モードになります。

2 再生ボタンで動画を選択する

マークが付いているファイルが動画です。

最初の1フレームが静止画で表示されます。



3 再生ボタンを押す

再生が始まります。

再生経過を示すインジケータと経過時間が表示されます。



以下の操作ができます。

一時停止／再開	▲ ボタン
停止	▼ ボタン
音量調節	+/- ボタン
コマ送り／コマ戻し	一時停止中に ◀▶ ボタン
早送り／早戻し	再生中に ◀▶ ボタン
静止画保存	一時停止中に Fn2 ボタン

メモ

- 一時停止中に Fn2 ボタンを押すと、表示している静止画を JPEG ファイルで保存できます。
- 早送り／早戻しは、ボタンを押す毎に速度が変わります。
- パソコンに転送して動画を再生する場合は、QuickTime が必要です。

動画を切り出す

動画の最初または最後の不要部分を削除して新規保存します。

- 1 再生モードで編集する動画を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

- 2 [動画ファイル部分切り出し] を選択し、▶ ボタンを押す
[動画ファイル部分切り出し] 画面が表示されます。

- 3 ADJ. レバーを押して最初または最後を選択する

黄色で表示されたポイントが指定対象になります。

この画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。



- 4 ◀▶ ボタンまたは ADJ. レバーを倒して削除するポイントを移動する

黄色のポイントが移動します。1 秒単位で指定できます。

- 5 MENU/OK ボタンを押す

不要部分が削除された動画が新規保存されます。

2 いろいろな再生

一覧表示する

再生モードで **Q (+)** / **☒ (-)** ボタンを押すと、複数の画像を一覧表示できます。



以下の操作ができます。

▲▼◀▶ ボタン	画像選択
ADJ. レバー	選択画像を 1 画像表示
DISP. ボタン	1 画像選択 / ページ送り選択切り替え

スライドショーで表示する

撮影した画像を順番に表示します。

[再生設定] メニューの [スライドショー] で ▶ ボタンを押すと、スライドショーが始まります。

途中で中止したいときには、いずれかのボタンを押します。中止するまで、繰り返しスライドショーが表示されます。



メモ

- 静止画は 3 秒間ずつ表示されます。
- 動画は撮影した内容がすべて表示されてから次の画像が表示されません。

拡大表示する

静止画を拡大表示できます。

以下の操作ができます。

Q (+) ボタン/ アップダウンダイヤル右	拡大
☒ (-) ボタン/ アップダウンダイヤル左	縮小
▲▼◀▶ ボタン	拡大表示箇所を移動
ADJ. レバー	押す：[セットアップ]メニューの[ワンプッシュ 拡大表示倍率]で設定した倍率（4倍／8倍／ 16倍）に一気に拡大 左右に倒す：拡大表示したまま前後の画像を表 示（動画を表示すると等倍に戻る）
MENU/OK ボタン	拡大表示中：[ワンプッシュ拡大表示倍率]で 設定した倍率に拡大
DISP. ボタン	情報表示あり→なし



メモ

- ・ [セットアップ]メニューの [ターゲット位置拡大再生] を [ON] に設定すると、撮影時にターゲット移動した位置を中心に拡大表示します。
- ・ 拡大表示の最大倍率は、画像のサイズによって異なります。
- ・ 動画は拡大表示できません。
- ・ [キーカスタム設定]メニューの [再生モードダイヤル設定] で、再生モード時のアップダウンダイヤルと ADJ.レバーの機能を変更できます。

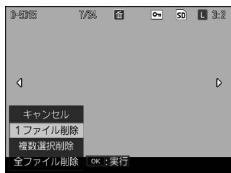
	アップダウンダイヤル	ADJ. レバー
設定 1 [初期設定]	拡大表示	拡大コマ送り
設定 2	拡大位置上下移動	拡大位置左右移動

ファイルを整理する

削除する

1 ファイルを削除する

- 1 再生モードで削除する画像を表示する
- 2 𠂆 ボタンを押す
- 3 ▲▼ ボタンで [1 ファイル削除] を選択する
◀▶ ボタンでファイルを変更できます。



2
いろいろな再生

- 4 MENU/OK ボタンを押す
ファイルが削除されます。
他のファイルも削除する場合は、手順 3～4 を繰り返します。
終了する場合は [キャンセル] を選択します。

すべてのファイルを削除する

- 1 再生モードで 𠂆 ボタンを押す
- 2 ▲▼ ボタンで [全ファイル削除] を選択して MENU/OK ボタンを押す
削除の確認画面が表示されます。
- 3 ▶ ボタンで [はい] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

複数のファイルを一度に削除する

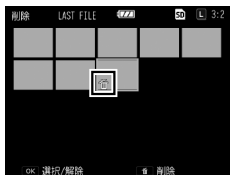
- 1 再生モードで 𠂆 ボタンを押す
20 コマ/81 コマ表示にしていた場合は、手順 3 に進みます。

- 2 [複数選択削除] を選択し、MENU/OK ボタンを押す
- 3 [1 枚ずつ指定] [範囲を指定] を選択し、MENU/OK ボタンを押す
- 4 ▲▼◀▶ ボタンでファイルを選択して MENU/OK ボタンを押す
[範囲を指定] の場合は、始点のファイルを選択します。

ファイルの左上にゴミ箱のマークが表示されます。

ADJ. レバーを押すと、[1 枚ずつ指定] [範囲を指定] が切り替わります。

[1 枚ずつ指定] の場合は、手順 6 に進みます。



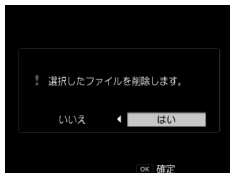
- 5 ▲▼◀▶ ボタンで終点のファイルを選択して MENU/OK ボタンを押す
手順 4～5 を繰り返して、範囲をすべて指定します。

間違えて選択したときは、ADJ. レバーを押して 1 ファイルずつ指定する画面に戻り、ファイルを選択して MENU/OK ボタンを押すと解除できます。



- 6 𠂆 ボタンを押す
削除の確認画面が表示されます。

- 7 ▶ ボタンで [はい] を選択し、MENU/OK ボタンを押す
処理中のメッセージが表示され、削除が完了すると一覧の画面に戻ります。



-
- ・フォルダーは削除されません。

プロテクトを設定する

ファイルを誤って削除しないように保護（プロテクト）します。

❗ 注意

- ・ [セットアップ] メニューの [初期化] を行うと、プロテクトされた画像も削除されます。

1 ファイルをプロテクトする

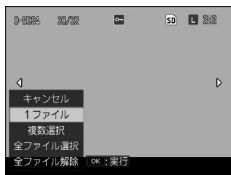
1 再生モードでプロテクトする画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

2 [プロテクト] を選択し、▶ ボタンを押す

3 ▲▼ ボタンで [1 ファイル] を選択する

◀▶ ボタンでファイルを変更できます。



4 MENU/OK ボタンを押す

プロテクトが設定され、再生画面にマークが表示されます。

プロテクトした画像に同じ操作を行うと、プロテクトが解除されます。



全ファイルをプロテクト／解除する

- 1 [再生設定] メニューで [プロテクト] を選択し、▶ ボタンを押す
- 2 [全ファイル選択] [全ファイル解除] を選択して MENU/OK ボタンを押す

複数のファイルを一度にプロテクトする

2
いろいろな再生

- 1 [再生設定] メニューで [プロテクト] を選択し、▶ ボタンを押す
20 コマ／81 コマ表示にしていた場合は、手順 3 に進みます。
- 2 [複数選択] を選択して MENU/OK ボタンを押す
- 3 [1 枚ずつ指定] [範囲を指定] を選択して MENU/OK ボタンを押す
- 4 ▲▼◀▶ ボタンでファイルを選択して MENU/OK ボタンを押す
[範囲を指定] の場合は、始点のファイルを選択します。
プロテクトを解除する場合は、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。
ADJ. レバーを押すと、[1 枚ずつ指定] [範囲を指定] が切り替わります。
[1 枚ずつ指定] の場合は、手順 6 に進みます。
- 5 ▲▼◀▶ ボタンで終点のファイルを選択して MENU/OK ボタンを押す
手順 4～5 を繰り返して、範囲をすべて指定します。
すでにプロテクトが設定されているファイルを選択すると、プロテクトが解除されます。
- 6 Fn2 ボタンを押す



処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると一覧の画面に戻ります。

7 MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューに戻ります。

内蔵メモリーの画像をカードへコピーする

内蔵メモリーに記録した静止画や動画をメモリーカードへコピーします。

1 メモリーカードをセットする

2 [再生設定] メニューの [内蔵メモリーからカードへコピー] を選択し、▶ ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、コピーが完了すると再生画面に戻ります。

注意

- ・コピー先のメモリーカードの容量が足りない場合には、容量不足を示すメッセージが表示されます。
- ・メモリーカードから内蔵メモリーへコピーすることはできません。

補正・加工する

撮影した画像を補正・加工し、新規ファイルとして保存します。

注意

- ・補正・加工ができるのは、本カメラで撮影した JPEG ファイルのみです。RAW ファイルと動画、動画から保存した静止画は補正・加工できません。
- ・補正・加工を繰り返し実行すると、画質が劣化します。

画像サイズを縮小する

[再生設定] メニューの [画像サイズ変更] は、静止画を **S** または **XS** に縮小します。

トリミングする

画像の周囲を切り取って保存します。

1 再生モードでトリミングする画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

2 [トリミング] を選択し、▶ ボタンを押す

3 トリミングする範囲を指定する



以下の操作ができます。

+/- ボタン	トリミングサイズ変更
▲▼◀▶ ボタン	トリミング枠の移動
ADJ. レバー	トリミング枠のアスペクト比を変更 (4:3 / 3:2 / 1:1)
Fn2 ボタン	操作方法説明を表示

4 MENU/OK ボタンを押す

トリミングされた画像が新規保存されます。



メモ

- ・トリミング後の画像サイズは、元画像のサイズとトリミング枠の大きさによって異なります。

斜めから撮影した画像を補正する

斜め方向から撮影した掲示板や名刺などの四角い被写体を、正面から撮影したように補正します。

1 再生モードで補正する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

2 [斜め補正] を選択し、▶ ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正対象として認識した最大5つのエリアがオレンジ色の枠で表示されます。

エリアが検出できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

3 ◀▶ ボタンで補正エリアを選択する

補正をキャンセルする場合は ⏪ ボタンを押します。



4 MENU/OK ボタンを押す

選択したエリアの斜め補正が行われ、枠外の部分はトリミングされます。



メモ

- ・画像サイズが大きい場合は、補正処理に時間がかかります。

明度・コントラストを補正する（レベル補正）

撮影した静止画の明度やコントラストを補正します。

- 1** 再生モードで補正する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

- 2** [レベル補正] を選択し、▶ ボタンを押す

- 3** [AUTO] [MANUAL] を選択し、▶ ボタンを押す

左上に元画像、右に補正画像が表示されます。

補正できないファイルを選択すると、エラーメッセージが表示されて [再生設定] メニューに戻ります。

[AUTO] を選択した場合は、手順 6 に進みます。

- 4** ADJ. レバーでヒストグラムのポイントを切り替える

左端・中央・右端のポイントを切り替えられます。

ヒストグラムの縦軸は画素数、横軸は左からシャドー・中間調・ハイライトを表しています。



ポイント

この画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

- 5** ◀▶ ボタンでポイント位置を調整する

- 6** MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が新規保存されます。



補正例

全体的な明るさを調整する

- 中央のポイントを左に移動すると全体的に明るくなり、右に移動すると全体的に暗くなります。



露出オーバー／アンダーの画像を補正する

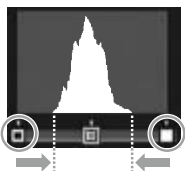
- 露出オーバーの場合は、左側のポイントを右に移動し、ヒストグラムの山の左端に合わせます。
- 露出アンダーの場合は、右側のポイントを左に移動し、ヒストグラムの山の右端に合わせます。
- この状態で中央のポイントを左右に移動すると、全体的な明るさを調整できます。



露出オーバーの場合

コントラストをはっきりさせる

- ヒストグラムの山が中央寄りに集中しています。左右のポイントを移動してそれぞれヒストグラムの両端に合わせると、明るい部分と暗い部分がはっきりした画像になります。
- この状態で中央のポイントを左右に移動すると、全体的な明るさを調整できます。



ホワイトバランスを補正する

静止画の色調を補正します。

- 1 再生モードで補正する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

- 2 [ホワイトバランス補正] を選択し、▶ ボタンを押す

[ホワイトバランス補正] 画面が表示されます。

- 3 ▲▼◀▶ でポイント位置を調整する

リセットする場合は、↶ ボタンを押します。もう一度 ↶ ボタンを押すと、補正がキャンセルされます。

この画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。



- 4 MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が新規保存されます。

色モアレを補正する

静止画に規則的な重複パターンがあることで発生した色干渉を軽減します。

- 1 再生モードで補正する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

- 2 [色モアレ補正] を選択し、▶ ボタンを押す

- 3 ▲▼ ボタンで [弱] [中] [強] を選択し、MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、補正後の画像が新規保存されます。



注意

- ・画像によっては正しく補正されない場合があります。
- ・色モアレ補正を実行すると、色抜けや色にじみが発生する場合があります

RAW ファイルを現像する

RAW ファイルを JPEG 形式に変換して新規保存します。ホワイトバランスやエフェクトを設定して保存できます。

1 再生モードで RAW 画像を選択して MENU/OK ボタンを押す
[再生設定] メニューが表示されます。

2 [RAW 現像] を選択し、▶ ボタンを押す
[RAW 現像] 画面が表示されます。

3 ▲▼ ボタンでパラメーターを選択し、▶ ボタンを押す



以下の設定ができます。

- ・画像サイズ
- ・ホワイトバランス
- ・明るさ補正
- ・エフェクト
- ・画像設定
- ・ダイナミックレンジ補正
- ・色モアレ補正
- ・ノイズリダクション
- ・色空間設定

4 ▲▼ ボタンで設定を選択し、◀ ボタンを押す

[ホワイトバランス] は、▶ ボタンを押すとホワイトバランス補正ができます。

[エフェクト] [画像設定] は、▶ ボタンを押すと詳細設定ができます。

5 すべての設定が終わったら MENU/OK ボタンを押す
JPEG ファイルが新規保存されます。



メモ

- ・撮影時の設定が、最初に選択されています。
- ・[ホワイトバランス] の [マルチパターン AUTO] [手動設定] は、撮影時に設定していた場合のみ選択できます。
- ・[ダイナミックレンジ補正] [ノイズリダクション] は、[OFF] [弱] [中] [強] から選択します。

AV 機器で再生する

2

テレビ等の AV 機器に接続して画像を再生することができます。

いろいろな再生

接続する機器の映像入力端子によって、別売りのケーブルを用意してください。

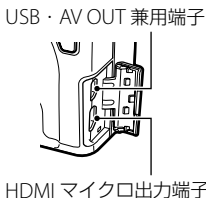
AV 機器の端子	ケーブル	カメラの接続端子
ビデオ端子	AV ケーブル (AV-1)	USB・AV OUT 兼用端子
HDMI 端子	HDMI ケーブル (HC-1)	HDMI マイクロ出力端子

1 AV 機器の映像入力端子にケーブルを接続する

2 カメラの電源がオフになっていることを確認する

3 カメラの端子カバーを開けてケーブルを接続する

USB・AV OUT 兼用端子または HDMI マイクロ出力端子のどちらかに接続します。



4 AV 機器の入力切り替えで、カメラを接続した端子に設定する
詳しくは AV 機器の説明書を参照してください。

5 カメラの POWER ボタンを押す

注意

- AV ケーブル/HDMI ケーブルで接続しているときは、画像モニターは表示されません。
- 動画の音声は AV 機器から出力されます。音量調整は AV 機器で行ってください。
- HDMI ケーブルで接続しているときは、白とび警告表示は表示されません。

メモ

- AV ケーブルで接続する場合は、AV 機器のビデオ方式を確認してください。国内の AV 機器は、NTSC 方式（日本などで使用されている方式）に設定されています。接続する機器が PAL 方式（ヨーロッパなどで使用されている方式）の場合は、[セットアップ] メニューの [ビデオ方式] で [PAL] に設定してから接続します。ご購入時の設定は、国や地域によって異なります。
- HDMI ケーブルの取り付け/取り外しを行うと、1 コマ表示になります。
- HDMI 出力時の解像度は [AUTO] に設定されています。AV 機器に表示される画像の解像度が低い場合は、[セットアップ] メニューの [HDMI 出力] で設定を変更してください。

DPOF を設定する

メモリーカードに記録した静止画は、プリントサービス取扱店でプリント注文ができます。

1 再生モードで設定する画像を表示して MENU/OK ボタンを押す

[再生設定] メニューが表示されます。

2 [DPOF] を選択し、▶ ボタンを押す

3 [1 ファイル] [全ファイル選択] を選択する

[1 ファイル] の場合は、◀▶ ボタンでファイルを選択できます。

[全ファイル解除] を選択すると、全ファイルの DPOF 設定を解除できます。

4 MENU/OK ボタンを押す

DPOF が設定され、再生画面にマークが表示されます。



注意

- 以下の場合は DPOF を設定できません。
 - RAW ファイル
 - 動画ファイル
 - 内蔵メモリーに記録されている画像
 - メモリーカードが「LOCK」されている場合

2

複数の静止画に DPOF を設定する

いろいろな再生

複数の画像を指定したり、印刷枚数を指定するときは、一覧表示の状態を設定します。

1 再生モードで ボタンを押す

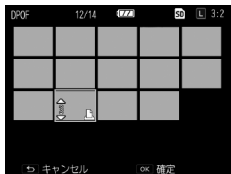
20 コマ表示になります。

2 [再生設定] メニューの [DPOF] を選択し、 ボタンを押す

3 ボタンで設定する静止画を選択し、 ボタンで印刷枚数を指定する

DPOF 設定を示すマークが表示されます。

設定を解除するときは、印刷枚数を [0] に指定します。



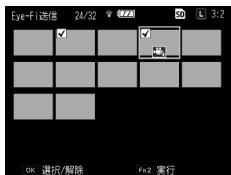
4 MENU/OK ボタンを押す

処理中のメッセージが表示され、設定が完了すると 20 コマ表示に戻ります。

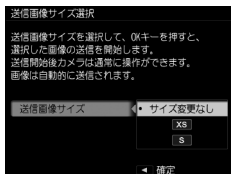
転送する画像を選択する

Eye-Fi カードを使用しているときに、選択した画像だけを転送することができます。

- 1 [セットアップ] メニューの [Eye-Fi 接続設定] を [ON (選択転送)] に設定する
- 2 電源を入れ直す
- 3 [再生設定] メニューの [Eye-Fi 選択画像送信] を選択し、▶ ボタンを押す
20 コマ表示になります。
- 4 ◀▶ ボタンで転送する画像を選択し、MENU/OK ボタンを押す



- 5 Fn2 ボタンを押す
[送信画像サイズ選択] 画面が表示されます。
- 6 サイズを変更する場合は ▶ ボタンを押し、サイズを選択する
XS / S が選択できます。



- 7 MENU/OK ボタンを押す
選択した画像が転送されます。

注意

- 以下のファイルは転送できません。
 - 動画
 - Eye-Fi カードが対応していないフォーマットの画像
 - フォルダ番号が 200 以上の画像

メモ

- 再生モードの 1 画像表示で Effect ボタンを押すと手順 6 の画面が表示され、表示していた画像の転送ができます。

3 カメラの設定を変更する

カメラをカスタマイズする

Fn ボタンや ADJ. レバーの機能を変更したり、モードダイヤル MY1 / MY2 / MY3 に設定が登録できます。

撮影設定を登録する（マイセッティング）

現在のカメラの設定を「マイセッティング」として登録し、自分好みの設定を簡単に呼び出して撮影ができます。

設定は以下の場所に登録できます。

MY1 / MY2 / MY3	モードダイヤルの MY1 / MY2 / MY3 に登録します。
マイセッティング BOX	カメラに 6 種類の設定が登録できます。 [マイセッティング呼び出し] (P.107) で [MY1] [MY2] [MY3] に割り付けて使用します。 登録した設定には名前を付けることができます。 (P.110)

以下の項目が登録できます。

カメラの設定

- ・ 撮影モード
- ・ Av / Tv / TAv / M モード時の絞り値・シャッタースピード
- ・ セルフタイマー
- ・ MF のフォーカス位置
- ・ マクロ
- ・ フラッシュ

【撮影設定】メニュー

- ・ [多重露光撮影] [インターバル撮影] [インターバル合成] [絞り自動シフト] [シャッタースピード自動シフト] [シャッター & 絞り自動シフト] [撮影モード切替] [撮影設定初期化] 以外

【キーカスタム設定】メニュー

- ・ Fn1 ボタン設定 / Fn2 ボタン設定 / エフェクトボタン設定

【セットアップ】メニュー

- ・ ISO 感度ステップ設定
- ・ 水準器設定
- ・ ISO AUTO-HI 設定
- ・ グリッドガイド表示設定

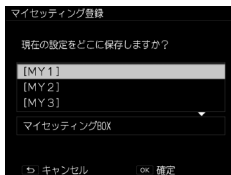
1 登録する機能を設定する

2 [キーカスタム設定] メニューの [マイセッティング登録] を選択し、▶ ボタンを押す

[マイセッティング登録] 画面が表示されます。

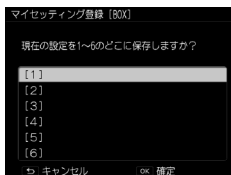
3 登録する場所を選択し、MENU/OK ボタンを押す

[MY1] [MY2] [MY3] を選択すると、それぞれのモードダイヤルに登録されます。



マイセッティング BOX に保存するときは [マイセッティング BOX] を選択して▶ ボタンを押し、登録する番号を選択します。

未登録の場所を選択すると、現在日時の名称で登録されます。



すでに名称が付いている場所を選択すると、名称設定の画面が表示されます。[はい] を選択すると、現在の名前そのまま設定が登録されます。[いいえ] を選択すると、現在日時 の名称で登録されます。

設定が登録されると、[キーカスタム設定] メニューに戻ります。

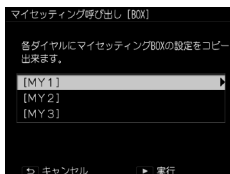
マイセッティングの設定を呼び出す

[マイセッティング BOX] に登録した内容を、モードダイヤル MY1 / MY2 / MY3 に割り付けます。

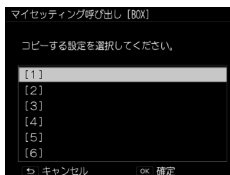
- 1 [キーカスタム設定] メニューの [マイセッティング呼び出し] を選択し、▶ ボタンを押す

[マイセッティング呼び出し] 画面が表示されます。

- 2 ▲▼ ボタンで割り付けるダイヤルを選択し、▶ ボタンを押す



- 3 マイセッティングが登録されているマイセッティング BOX の番号を選択し、MENU/OK ボタンを押す
選択したマイセッティングがモードダイヤルに登録され、[キーカスタム設定] メニューに戻ります。

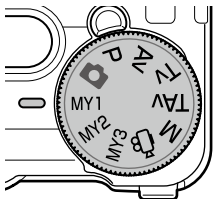


- 注意** -----
- ・ [マイセッティング BOX] に登録した内容は、内蔵メモリーを初期化しても消去されませぬ。

マイセッティングモードで撮影する

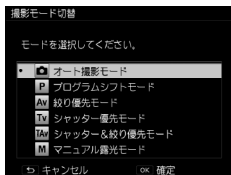
1 モードダイヤルを MY1 / MY2 / MY3 に合わせる

マイセッティングの設定で撮影できるようになります。




登録した撮影モードのマーク

2 撮影モードを一時的に変更するときは、[撮影設定]メニューの[撮影モード切替]を選択する



メモ

- ・マイセッティングモードで変更した設定は、モードを切り替えるか電源をオフにすると、元のMY1 / MY2 / MY3 の登録内容に戻ります。
- ・マイセッティングに登録した撮影モードが  モードのときは、手順2の操作はできません。

マイセッティングを編集する

マイセッティングの登録内容を編集します。

- 1 [キーカスタム設定] メニューの [マイセッティング編集] を選択し、▶ ボタンを押す

[マイセッティング編集] 画面が表示されます。

- 2 編集したいマイセッティングを選択し、▶ ボタンを押す



マイセッティング BOX に保存したマイセッティングを編集する場合は ▶ ボタンを押し、番号を選択します。

設定項目の一覧が表示されます。

- 3 ▲▼ ボタンで編集したい項目を選択し、▶ ボタンを押す

▲▼ ボタンで設定を変更します。



- 4 ◀ ボタンで内容を決定する

手順 3～4 を繰り返します。

- 5 MENU/OK ボタンを押す

編集内容が保存され、[キーカスタム設定] メニューに戻ります。

マイセッティングの名称を変更する

- 1** P.109の手順3の画面で「マイセッティング名称」を選択し、
▶ ボタンを押す

「マイセッティング名称」画面が表示され、文字入力エリアに現在の名称が表示されます。

新規に名称を指定する場合は、手順3に進みます。



3

カメラの設定を変更する

- 2** ◀▶ ボタンで編集する位置にカーソルを移動する

- 3** ▼ ボタンを押す

文字選択エリアにカーソルが移動します。

- 4** ▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、MENU/OK ボタンで決定する

文字入力エリアのカーソル位置に文字が挿入されます。

文字を削除するときは「削除」、スペースを挿入するときは「空白」を選択します。

入力できる文字は全角カタカナ／半角英数字で、全角16文字（半角32文字）までです。Fn2 ボタンで文字の種類が変更できます。

- 5** ADJ. レバーを押す
名称が登録されます。



メモ

- ・ [MY1] [MY2] [MY3] の設定を [マイセッティング呼び出し] で割り付けている場合は、マイセッティング BOX の設定を編集すると [MY1] [MY2] [MY3] の設定にも反映されます。
[MY1] [MY2] [MY3] の設定を直接編集した場合は、マイセッティング BOX の設定には反映されません。また、その後マイセッティング BOX の設定を編集しても、[MY1] [MY2] [MY3] の設定には反映されなくなります。
- ・ マイセッティングの名称は、モードダイヤルを MY1 / MY2 / MY3 に合わせたときに表示されます。
- ・ [キーカスタム設定] メニューの [マイセッティング削除] で、マイセッティングの登録を削除することができます。



ADJ. レバーに機能を登録する

ADJ. レバーに撮影機能を登録し、ADJ. レバーの操作で簡単に呼び出すことができます (ADJ. モード)。

以下の機能が登録できます。

機能	参照先
OFF	—
ISO	※ [ADJ. レバー 1 初期設定] P.49
画像サイズ	※ [ADJ. レバー 2 初期設定] P.53
アスペクト比	※ [ADJ. レバー 3 初期設定] P.53
フォーカス	※ [ADJ. レバー 4 初期設定] P.54
画像設定	P.79
測光	※ [ADJ. レバー 5 初期設定] P.52
連写	P.67
オートブラケット	P.68
調光補正	P.76
マニュアル発光	P.77
D レンズ補正	P.51

機能	参照先
スナップフォーカス距離	P.56
エフェクト	P.78

- 1** [キーカスタム設定] メニューの [ADJ. レバー設定] を選択し、
▶ ボタンを押す

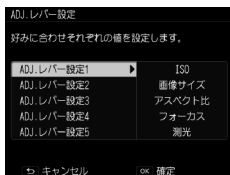
[ADJ. レバー設定] 画面が表示されます。

- 2** ▲▼ ボタンで [ADJ. レバー設定 1] ~ [ADJ. レバー設定 5]
を選択し、▶ ボタンを押す

- 3** ▲▼ ボタンで登録する機能を選択し、◀ ボタンを押す

手順 2 ~ 3 を繰り返します。

- 4** MENU/OK ボタンを押す
[キーカスタム設定] メニューに戻ります。



ADJ. モードを利用する

- 1** 撮影モードで ADJ. レバーを押す

ADJ. モードになります。

- 2** ◀▶ ボタンで設定したい機能を選択する

ADJ. レバー設定 1 ~ 5 が切り替わります。



- 3** ▲▼ ボタンで値を選択する

- 4** MENU/OK ボタンを押す

選択した機能が設定されます。

Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに機能を登録する

Fn1 / Fn2 / Effect ボタンに機能を登録すると、ボタンを押すだけで設定を切り替えたり、機能の設定画面を表示することができます。

以下の中から Fn1 / Fn2 / Effect ボタンそれぞれに機能が割り当てられます。

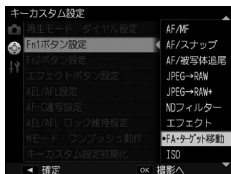
機能	参照先
OFF	—
35mm クロップ	P.53
マルチ AF/ スポット AF	P.54
マルチ AF/ ピンポイント AF	P.54
AF/MF	P.54
AF/ スナップ	P.54
AF/ 被写体追尾	P.54
JPEG → RAW	P.53
JPEG → RAW+	P.53
ND フィルター	P.47
エフェクト ※ [Effect ボタン初期設定]	P.78
FA・ターゲット移動 ※ [Fn1 ボタン初期設定]	P.60
ISO	P.49
画像サイズ	P.53
アスペクト比	P.53
フォーカス	P.54
スナップフォーカス距離	P.56
画像設定	P.79
測光	P.52
連写	P.67
多重露光	P.69
オートブラケット	P.68
調光補正	P.76
マニュアル発光	P.77

機能	参照先
D レンズ補正	P.51
セルフタイマー ※ [Fn2 ボタン初期設定]	P.35
フレームレート (動画)	P.82

1 [キーカスタム設定] メニューの [Fn1 ボタン設定] [Fn2 ボタン設定] [エフェクトボタン設定] を選択し、▶ ボタンを押す

2 ▲▼ ボタンで登録する機能を選択し、◀ ボタンを押す

機能が登録され、[キーカスタム設定] メニューに戻ります。



3

カメラの設定を変更する

メモ

- 電源をオンにしたときやモードダイヤルを回したときに、現在のFn1/Fn2/Effect ボタンの機能が表示されます。[セットアップ] メニューの [Fn ボタン設定表示] を [OFF] に設定すると、表示されません。



その他の設定を変更する

画像モニターの明るさを調節する

画像モニターの明るさを調整します。

- 1** [セットアップ] メニューの [画像モニター輝度調節] を選択し、▶ ボタンを押す
- 2** [AUTO] [MANUAL] を選択する
[AUTO] を選択した場合は、[セットアップ] メニューに戻ります。
- 3** ▶ ボタンを押す
[画像モニター輝度調節] 画面が表示されます。
- 4** ▲▼ ボタンで明るさを調節する
- 5** MENU/OK ボタンを押す
[セットアップ] メニューに戻ります。



3

カメラの設定を変更する

撮影モードの表示内容を設定する

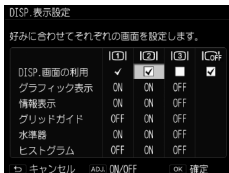
撮影モードで DISP. ボタンを押して表示する内容を、ボタンを押す回数ごとに設定できます。

1 [セットアップ] メニューの [DISP. 表示設定] を選択し、▶ ボタンを押す

[DISP. 表示設定] 画面が表示されます。

2 ◀▶ ボタンで [DISP. 画面の利用] を設定する

□11 ~ □13 はボタンを押す回数を表し、□1OFF は画像モニターオフを表します。



3 ADJ. レバーで使用／不使用を切り替える

チェックマークが付いていない設定は利用しない（表示されない）設定になります。☒の設定の場合、DISP. ボタンを押したときの表示パターンは3種類ということになります。□11 は不使用にできません。

4 ▲▼◀▶ ボタンで表示項目を選択し、ADJ. レバーで ON / OFF を切り替える

グラフィック表示	絞り値／シャッタースピードを変更しているときに、画面下に設定できる値が表示されます。
情報表示	撮影モードや設定等のマークが表示されます。
グリッドガイド	撮影のためのガイド線を表示します。 グリッドの種類は [セットアップ] メニューの [グリッドガイド表示設定] で選択できます。
水準器	カメラの傾きを確認するインジケータを表示します。
ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。

5 MENU/OK ボタンを押す

[セットアップ] メニューに戻ります。

操作音を設定する

[セットアップ] メニューの [操作音] [操作音音量設定] でカメラの操作音の設定ができます。

カメラの操作音は、以下の3種類です。

シャッター音	シャッターボタンを押したときに鳴ります。
フォーカスが合ったとき	シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに「ピピッ」という音が鳴ります。
警告音	実行できない操作を行ったときに「ピピピピピ」という音が鳴ります。

[操作音] で [すべて] [シャッター音] が選択できます。

[操作音音量設定] でカメラの操作音を OFF / ■□□ (音量小) / ■■□ (音量中) / ■■■ (音量大) から設定できます。

ファイル名を変更する

ファイル名の先頭の2文字を変更することができます。

1 [セットアップ] メニューの [ファイル名変更] を選択し、▶ ボタンを押す

[ファイル名変更] 画面が表示されます。

2 ▲▼ ボタンで文字を選択する

入力できる文字は、半角英数字（大文字のみ）です。

3 ▶ ボタンを押し、2文字目も同様に選択する

4 MENU/OK ボタンを押す

ファイル名が登録され、[セットアップ] メニューに戻ります。



メモ

- ・ [セットアップ] メニューの [色空間設定] が [AdobeRGB] に設定されているときは、先頭の1文字のみ反映されます。



ファイル番号をリセットする

撮影した画像には、「R0」と6桁の通し番号(010001～999999)の付いたファイル名(R0010001.JPG～R0999999.JPG)が自動的に付きます。このファイル名は、メモリーカードを替えても前のカードからの連番になります。

連番をリセットするときは、[セットアップ]メニューの[ファイル番号リセット]を実行します。



メモ

- [セットアップ]メニューの[色空間設定]を[AdobeRGB]に設定している場合は、ファイル名の先頭が「_」(アンダーバー)になります。
- フォルダー番号は100～999で、最大フォルダー番号からファイルの記録が始まります。ファイル番号がR0**9999を超えると次のフォルダーが作成され、ファイル番号はR0**0001になります。フォルダー番号が999の場合は、R0**9999を超えるとそれ以上記録できません。
- メモリーカードがセットされていないときは、内蔵メモリーのファイル番号がリセットされます。

著作権情報を設定する

著作権情報を設定し、撮影時に画像の Exif データに書き込むことができます。

- 1 [セットアップ] メニューの [著作権情報] を選択し、▶ ボタンを押す

[著作権情報] 画面が表示されます。

- 2 ▼ ボタンを押す

文字選択エリアにカーソルが移動します。

- 3 ▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、MENU/OK ボタンで決定する

入力できる文字は、半角英数字／記号で 46 文字までです。Fn2 ボタンで文字の種類が変更できます。



- 4 ADJ. レバーを押す

著作権情報が登録され、[セットアップ] メニューに戻ります。



メモ

- 画像に記録された著作権情報は、再生画面の詳細情報表示で確認できます。

ファームウェアのバージョンを確認する

[セットアップ] メニューの [ファームウェアバージョン確認] で、カメラのファームウェアのバージョンを表示できます。メモリーカードにファームウェア用のファイルがあるときは、ファームウェアのアップデートができます。

バージョンアップ情報は、弊社ホームページ (<http://www.ricoh.co.jp/dc/>) を確認してください。

4 メニュー一覧

機能は主にメニューで設定します。

以下のメニューがあります。（「設定値」内の下線は初期値）


【撮影設定】メニュー


撮影時の設定を行います。撮影モードのときに表示されます。モードダイヤルの位置によって選択できる項目が異なります。



項目	設定値	参照先
フォーカス	マルチ AF / スポット AF / ピンポイント AF / 被写体追尾 AF / MF / スナップ / ∞	P.54
スナップ時フォーカス距離	1m / 1.5m / 2m / <u>2.5m</u> / 5m / ∞	P.56
フルプレースナップ	OFF / <u>ON</u> / ON ISO AUTO-HI	P.62
FA・ターゲット移動	ターゲット移動設定：AE・AF / <u>AF</u> / AE フォーカスアシスト設定： <u>OFF</u> / MODE1 / MODE2 / MODE3 / MODE4 拡大表示設定：部分拡大 / 全体拡大	P.60
測光	マルチ / 中央 / スポット	P.52
撮影画像フォーマット	フォーマット・サイズ： <u>RAW</u> / RAW+ / <u>L</u> / <u>M</u> / <u>S</u> / <u>XS</u> アスペクト比：3:2 / 4:3 / 1:1	P.53

項目	設定値	参照先
動画フォーマット *1	記録サイズ： <u>FullHD</u> / <u>HD</u> / <u>VGA</u> フレームレート：60 コマ / 秒 / 50 コマ / 秒 / <u>30 コマ / 秒</u> / 25 コマ / 秒 / 24 コマ / 秒	P.82
エフェクト	OFF / 白黒 / 白黒 (TE) / ハイコントラスト白黒 / クロスプロセス / ポジフィルム調 / プリーチバイパス / レトロ / ミニチュアライズ / ハイキー	P.78
画像設定	ビビッド / <u>スタンダード</u> / 設定 1 / 設定 2	P.79
35mm クロップ	OFF / ON	P.53
日付入れ撮影	OFF / 日付 / 日時	P.82
連写	OFF / 連写	P.67
オートブラケット	OFF / AE-BKT 1/3EV / AE-BKT 1/2EV / WB-BKT / WB-BKT プリセット / Effect-BKT / DR-BKT / CONTRAST-BKT	P.68
多重露光撮影	自動露出：OFF / <u>ON</u> 1 枚ずつ保存：OFF / ON 途中経過保存：OFF / ON	P.69
インターバル撮影	<u>00 分 01 秒</u> ~ 60 分 00 秒 1 ~ <u>∞</u> 枚	P.71
インターバル合成 *2	撮影間隔：最短 ~ 60 分 インターバル合成画像保存： <u>OFF</u> / 1 枚ずつ保存 / 途中経過保存	P.72
カスタムセルフ	撮影枚数：1 ~ 10 枚 [<u>2 枚</u>] 撮影間隔：5 ~ 10 秒 [<u>5 秒</u>]	P.35
ホワイトバランス	AUTO / <u>マルチパターン</u> AUTO / 屋外 / 日陰 / 曇天 / 白熱灯 1 / 白熱灯 2 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球色蛍光灯 / 詳細設定 / 手動設定	P.63

項目	設定値	参照先
ISO 感度・NR	ISO 感度： <u>AUTO</u> ／AUTO-HI／ ISO 100～ISO 25600 ノイズリダクション：OFF／ <u>AUTO</u> ／MANUAL	P.49
露出補正	+4.0／+3.7／+3.3／+3.0／+2.7／ +2.3／+2.0／+1.7／+1.3／+1.0／ +0.7／+0.3／ <u>0.0</u> ／-0.3／-0.7／ -1.0／-1.3／-1.7／-2.0／-2.3／-2.7 ／-3.0／-3.3／-3.7／-4.0	P.48
ND フィルター	<u>OFF</u> ／ON	P.47
ダイナミックレンジ補正	<u>OFF</u> ／AUTO／弱／中／強	P.51
長秒時ノイズ低減	OFF／ <u>ON</u>	P.44
絞り自動シフト ^{*3}	<u>OFF</u> ／ON	P.44
シャッター速度自動シフト ^{*4}	<u>OFF</u> ／ON	P.44
シャッター&絞り自動シフト ^{*5}	<u>OFF</u> ／絞り優先／シャッター優先	P.44
フラッシュ調光補正	+2.0／+1.7／+1.3／+1.0／+0.7／ +0.3／ <u>0.0</u> ／-0.3／-0.7／-1.0／ -1.3／-1.7／-2.0	P.76
フラッシュマニュアル発光量	FULL／1/1.4／ <u>1/2</u> ／1/2.8／1/4／ 1/5.6／1/8／1/11／1/16／1/22／ 1/32／1/64	P.77
フラッシュシンクロ設定	<u>先幕</u> ／後幕	P.77
蛍光灯ちらつき低減 ^{*1}	OFF／50Hz／60Hz	P.83
撮影モード切替 ^{*6}	 ／P／Av／Tv／TAv／M	P.108
撮影設定初期化	—	P.128

- *1 モードダイヤルが  のときのみ表示されます。
- *2 モードダイヤルが Av／Tv／TAv／M のときのみ表示されます。
- *3 モードダイヤルが Av のときのみ表示されます。
- *4 モードダイヤルが Tv のときのみ表示されます。
- *5 モードダイヤルが TAv のときのみ表示されます。
- *6 モードダイヤルが MY1／MY2／MY3 のときのみ表示されます。

【再生設定】メニュー

再生モードのときに表示されます。画像の管理や補正を行います。

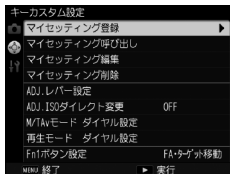
項目	参照先
RAW 現像	P.99
レベル補正	P.96
ホワイトバランス補正	P.98
色モアレ補正	P.98
トリミング	P.94
画像サイズ変更	P.93
斜め補正	P.95
動画ファイル部分切り出し	P.86
スライドショー	P.87
プロテクト	P.91
DPOF	P.101
内蔵メモリーからカードへコピー	P.93
Eye-Fi 選択画像送信 ^{*1}	P.103



- *1 Eye-Fi カードを使用し、[セットアップ] メニューの [Eye-Fi 接続設定] で [ON (選択転送)] を設定しているときのみ表示されます。

【キーカスタム設定】メニュー

よく使用する撮影設定の登録や、ボタン／レバーの機能が変更できます。



項目	設定値	参照先
マイセッティング登録	MY1 / MY2 / MY3 / マイセッティングBOX [1] ~ [6]	P.105
マイセッティング呼び出し	—	P.107
マイセッティング編集	—	P.109
マイセッティング削除	—	P.111
ADJ. レバー設定	OFF / ISO [ADJ. レバー設定 1] / 画像サイズ [ADJ. レバー設定 2] / アスペクト比 [ADJ. レバー設定 3] / フォーカス [ADJ. レバー設定 4] / 画像設定 / 測光 [ADJ. レバー設定 5] / 連写 / オートブラケット / 調光補正 / マニュアル発光 / D レンジ補正 / スナップフォーカス距離 / エフェクト	P.111
ADJ. ISO ダイレクト変更	ON / OFF	P.50
M/TAv モードダイヤル設定	設定 1 / 設定 2	P.43
再生モードダイヤル設定	設定 1 / 設定 2	P.88

項目	設定値	参照先
Fn1 ボタン設定 Fn2 ボタン設定 エフェクトボタン設定	OFF / 35mm クロップ / マルチ AF / スポット AF / マルチ AF / ピンポイント AF / AF / MF / AF / スナップ / AF / 被写体追尾 / JPEG → RAW / JPEG → RAW+ / ND フィルター / <u>エフェクト</u> [エフェクトボタン設定] / <u>FA・ターゲット移動</u> [Fn1 ボタン設定] / ISO / 画像サイズ / アスペクト比 / フォーカス / スナップフォーカス距離 / 画像設定 / 測光 / 連写 / 多重露光 / オートブラケット / 調光補正 / マニュアル発光 / D レンジ補正 / <u>セルフタイマー</u> [Fn2 ボタン設定] / フレームレート	P.113
AEL/AFL 設定	AFL / AEL・AFL / AEL	P.58
C-AF 連写設定	OFF / AF 優先連写 / コマ速度優先連写	P.59
AEL/AFL ロック維持設定	OFF / ON	P.59
M モードワンプッシュ動作	<u>絞り優先</u> / シャッター優先 / プログラム	P.44
キーカスタム設定初期化	—	P.128

【セットアップ】メニュー

カメラの全般的な動作を設定します。



項目	設定値	参照先
初期化 [カード]	—	P.25
初期化 [内蔵メモリー]	—	—
ファイル番号リセット	—	P.118
ファイル名変更	R0	P.117
著作権情報	—	P.119
画像モニター輝度調節	<u>AUTO</u> / MANUAL	P.115
操作音	<u>すべて</u> / シャッター音	P.117
操作音音量設定	OFF / <u>小</u> / 中 / 大	P.117
オートパワーオフ	OFF / 1 ~ 30分 (<u>5分</u>)	P.28
スリープ	<u>OFF</u> / 1 ~ 30分	P.29
画像モニター節電	<u>ON</u> / OFF	P.29
電源ボタンランプ	<u>ON</u> / OFF	P.29
ISO 感度ステップ設定	<u>1EV</u> / 1/3EV	P.49
ISO AUTO-HI 設定	上限 ISO 感度：AUTO 200 / AUTO 400 / AUTO 800 / AUTO 1600 / <u>AUTO 3200</u> / AUTO 6400 / AUTO 12800 / AUTO 25600 切り替えシャッタースピード： <u>AUTO</u> / 1/2 / 1/4 / 1/8 / 1/15 / 1/30 / 1/60 / 1/125 / 1/250	P.49
ND フィルター設定	<u>AUTO</u> / MANUAL	P.47
AF 補助光	<u>ON</u> / OFF	—
水準器設定	OFF / <u>水平</u> + アオリ / 水平	P.37
水準器 (アオリ方向) キャリブレーション	設定初期化 / キャリブレーション	P.37

項目	設定値	参照先
コンバージョンレンズ	OFF/WIDE	P.142
色空間設定	sRGB/AdobeRGB	—
画像確認時間	OFF/0.5秒/1秒/2秒/3秒/HOLD	P.34
グリッドガイド表示設定	グリッド1/グリッド2/グリッド3	P.116
DISP. 表示設定	DISP. 画面の利用/グラフィック表示/情報表示/グリッドガイド/水準器/ヒストグラム	P.116
情報表示モード	ON/OFF	P.44
Fn ボタン設定表示	ON/OFF	P.114
縦横自動回転再生	ON/OFF	P.38
白とび警告表示	ON/OFF	P.22
ワンプッシュ拡大表示倍率	4倍/8倍/16倍	P.88
ターゲット位置拡大再生	ON/OFF	P.88
再生順序設定	ファイル番号/撮影日時	P.38
日時設定	—	P.30
Language/ 言語 *1	日本語/英語	P.30
ビデオ方式 *1	NTSC/PAL	P.101
HDMI 出力	AUTO/1080i/720P/480P	P.101
メニューカーソル位置保持	ON/OFF	P.128
ファームウェアバージョン確認	—	P.119
Eye-Fi 接続設定 *2	OFF/ON (自動)/ON (選択転送)	P.24
Eye-Fi 接続先表示 *2	—	P.24

* 1 初期設定は、国や地域によって異なります。

* 2 Eye-Fi カードを使用しているときのみ表示されます。



メモ

- [インターバル撮影] [カスタムセルフ] は、電源をオフにすると設定値が初期値に戻ります。それ以外の機能は、設定値が保持されます。
- [撮影設定] メニューで設定した項目は、[撮影設定] メニューの [撮影設定初期化] で初期値に戻すことができます。
- [キーカスタム設定] メニューで設定した項目は、[キーカスタム設定初期化] で初期値に戻すことができます。[マイセッティング登録] の内容は初期化されません。
- [セットアップ] メニューの [メニューカーソル位置保持] を [ON] に設定すると、最後に選択していた項目のカーソル位置が記憶され、次にメニューを表示したときにその項目が最初に表示されます。

5 画像をパソコンに取り込む

画像をパソコンで利用するには

撮影した静止画・動画は、本カメラとパソコンを USB ケーブルで接続して転送することができます。また RAW ファイルは、付属ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE for PENTAX RICOH IMAGING」で現像ができます。

パソコンとの接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows 8 (32bit/64bit) / Windows 7 (32bit/64bit) / Windows Vista (32bit/64bit) / Windows XP (SP3以降、Home/Pro 32bit) ・インストールには管理者権限が必要 ・64bit OS 上では、32bit アプリケーションとして動作可能
CPU	Intel Pentium 互換プロセッサ (Pentium 4 / Athlon XP 以上推奨) ・マルチコア (Intel Core i7, i5 / Core 2 Quad, Duo / AMD Phenom II X6, X4 / Athlon II X4, X2 等) 対応
メモリー	1GB 以上 (2GB 以上推奨)
HDD	プログラムのインストール、起動時：100MB 以上の空き容量 画像ファイル保存：1 ファイルあたり 10MB 程度
モニター	1024 × 768 ドット、24bit フルカラー以上

Macintosh

OS	Mac OS X 10.8 / 10.7 / 10.6 / 10.5
CPU	Intel プロセッサ対応 / Power PC
メモリー	1GB 以上 (2GB 以上推奨)
HDD	プログラムのインストール、起動時：100MB 以上の空き容量 画像ファイル保存：1 ファイルあたり 10MB 程度
モニター	1024 × 768 ドット、24bit フルカラー以上

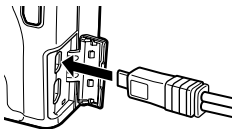
画像をパソコンに保存する

付属の USB ケーブルを使用してパソコンと接続します。

1 カメラの電源をオフにする

2 端子カバーを開けて USB ケーブルで USB・AV OUT 兼用端子とパソコンを接続する

カメラの電源がオンになり、画像モニターに「PC 接続中」と 10 秒間表示されます。



カメラはリムーバブルディスクとしてパソコンに認識されます。

メモリーカードがセットされているときはメモリーカードのファイル、メモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルが表示されます。

3 画像をコピーしてパソコンに保存する

4 保存が終了したら、カメラとパソコンの接続を解除する

5 USB ケーブルを取り外す

カメラの電源がオフになります。

メモ -----

- ・パソコンに接続すると、バッテリーの充電が開始されます。
- ・バッテリーの残量が少ない場合は、パソコンに認識されるまでに時間がかかることがあります

注意 -----

- ・画像の取り込み中は、USB ケーブルを抜かないでください。

ソフトウェアのインストール

付属の CD-ROM には、「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE for PENTAX RICOH IMAGING」が収録されています。SILKYPIX Developer Studio は、RAW ファイルを現像して色調整などを行い、JPEG または TIFF 形式で保存します。



メモ

- ・ご使用の OS で複数アカウントを設定している場合は、administrator (管理者) 権限でログオンしてからインストールを始めてください。

1

パソコンの CD / DVD ドライブに CD-ROM をセットする
[Software Installer] の画面が表示されます。

2

[SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE for PENTAX RICOH IMAGING] をクリックする

Macintosh の場合は、以降の操作は画面の指示に従ってください。

3

[設定言語の選択] 画面で [日本語] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

4

日本語の [InstallShield Wizard] 画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリックする

以降の操作は画面の指示に従ってください。



メモ

- ・ソフトウェアの詳しい使い方は、SILKYPIX Developer Studio を起動してヘルプを参照してください。

お困りのときは

エラーメッセージ

画像モニターにエラーメッセージが表示されたときは、以下の方法で対処してください。

エラーメッセージ	原因と対応方法	参照先
カードを入れてください。	カードがセットされていません。カードをセットしてください。	P.23
日付を設定してください。	日付が設定されていません。日付を設定してください。	P.30
FILE NUMBER OVER	ファイル番号の制限を超えています。ファイル番号をリセットするか、他のカードを使用してください。	P.118
表示できないファイルです。	カメラでは表示できないファイルです。パソコンなどでファイルを確認し、ファイルを削除してください。	—
プロテクトされています。	プロテクトされたファイルを削除しようとしています。	P.91
カードが書き込み禁止です。	カードが「LOCK」されています。ロックを解除してください。	—
プリント設定できないファイルです。	プリント設定できないファイルです。	P.101
容量不足です。	ファイルを記録できません。ファイルを削除するか、新しいカードを使用してください。	P.89
	画像のプリント指定枚数が制限を超えています。	—
内蔵メモリーを初期化してください。	内蔵メモリーを初期化する必要があります。[セットアップ]メニューの[初期化 [内蔵メモリー]]を実行してください。	—
カードを初期化してください。	カードが初期化されていません。本カメラでカードを初期化してください。	P.25
使用できないカードです。	再度初期化してください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、カードの異常が考えられます。そのカードを使用しないでください。	P.25
メモリー書き込み中	ファイルをメモリーに書き込んでいます。書き込みが終わるまでお待ちください。	—
ファイルがありません。	再生できるファイルがありません。	—
記録できません。	記録可能枚数が0になりました。他のカードや内蔵メモリーに切り替えてください。	—
送信できないファイルです。	Eye-Fi カードで送信できないファイルです。	P.104

カメラ本体のトラブル

電源

症状	原因	処置	参照先
電源が入らない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。	P.23 P.26
	使用できないバッテリーを使用している。	専用バッテリーを使う。	—
	ACアダプターが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.143
	バッテリーの方向が違う。	正しくセットする。	P.23
電源が途中で切れる。	操作しない時間が続いたので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.28
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。	P.26
	使用できないバッテリーを使用している。	専用バッテリーを使う。	—
電源がオフにならない。	カメラの誤作動。	バッテリーをセットし直す。ACアダプター使用時には接続し直す。	P.23 P.143
十分に残量のあるバッテリーなのに、残量が少ない電池マークが表示される。または電源がオフになる。	使用できないバッテリーを使用している。	専用バッテリーを使う。	—
バッテリーを充電できない。	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーに交換する。	—
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	—	—
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	—	—

撮影

症状	原因	処置	参照先
シャッターボタンを押しても撮影できない。	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。	P.26
	電源が入っていない。または撮影モードになっていない。	POWER ボタンを押して、電源をオンにする。または ▶ ボタンを押して撮影モードにする。	P.28
	メモリーカードが初期化されていない。	初期化する。	P.25
	メモリーカードに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットする。	P.89
	メモリーカードの寿命。	新しいカードをセットする。	—
	フラッシュが充電中。	オートフォーカス/フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	—
	メモリーカードが「LOCK」されている。	書き込み禁止を解除する。	—
	メモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	—
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.34
画像モニターに映らない。	画像モニターが暗い。	画像モニターの明るさを調整する。	P.115
	画像モニターがオフになっている。	DISP. ボタンを押して、画像モニターをオンにする。	P.21
	AV ケーブル/HDMI ケーブルを接続した状態になっている。	AV ケーブル/HDMI ケーブルを取り外す。	P.100
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズが汚れている。	乾いた柔らかい布できれいに拭き取る。	—
	被写体が撮影範囲枠の中央にない。	フォーカスロックで撮影する。	—
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスで撮影する。	P.56
	被写体との距離が近すぎる。	マクロで撮影する。または、被写体から離れて撮影する。	P.57
手ブレになる。	シャッターボタンを押したときに、カメラが動いた。	両肘を身体に付けて構える。三脚を使用する。	—
	薄暗い場所での撮影時には、シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすくなる。	フラッシュを使用する。ISO 感度を上げる。	P.49 P.74

症状	原因	処置	参照先
フラッシュが発光しない。 フラッシュの充電ができない。	フラッシュがポップアップしていない。	OPEN スイッチを下側にスライドさせて、フラッシュをポップアップさせる。	P.74
	フラッシュカバーが完全に上がっていない。	フラッシュカバーを手で押さえたり、覆ったりしないように注意する。	P.74
	フラッシュが使用できない以下の機能を選択している。 ・動画 ・連写 ・オートブラケット ・インターバル合成	フラッシュを発光して撮影したい場合は、設定やモードを変更する。	P.74
	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。	P.26
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が約3.0m以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	—
	黒っぽい被写体である。	フラッシュの光量を調節する。	P.76
	フラッシュの光量が適切でない。	フラッシュの光量を調節する。	P.76
	フラッシュカバーが完全に上がっていない。	フラッシュカバーを手で押さえたり、覆ったりしないように注意する。	P.74
画像が明るすぎる。	フラッシュの光量が適切でない。	フラッシュの光量を調整する。 被写体から少し離れて撮影する。 被写体に照明などを当ててフラッシュを発光しないで撮影する。	P.76
	画像モニターの明るさが適切でない。	画像モニターの明るさを調整する。	P.115
画像が暗すぎる。	暗いところで撮影している。	フラッシュをポップアップさせる。	P.74
	画像モニターの明るさが適切でない。	画像モニターの明るさを調整する。	P.115
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影している。	被写体に白色系の物を入れて撮影する。またはホワイトバランスを [AUTO] 以外にする。	P.63
AF 動作中、画像モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している。	故障ではありません。	—
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写している。	スミア現象といい、故障ではありません。	—

症状	原因	処置	参照先
水準器が表示されない。	[水準器設定] を [OFF] に設定している。	[水準器設定] を表示する設定に変更する。	P.36
	水準器が表示されない設定になっている。	[DISP. 表示設定] で表示する設定に変更する。	P.116
	カメラが上下逆になっている。	カメラを正しく構える。	—
水準器の目盛りが中央を指している状態で撮影したのに、画像が傾いている。	乗り物に乗っているなど、動いている状態で撮影している。	停止している状態で撮影する。	—
	被写体自体が傾いている。	被写体を確認する。	—

再生／削除

症状	原因	処置	参照先
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示が表示なしになっている。	DISP. ボタンを押して表示を切り替える。	P.22
再生できない。または再生画面が出ない。	AV ケーブル/HDMI ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続し直す。	P.100
	[ビデオ方式] の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.101
メモリーカードが再生できない。または再生画面が出ない。	本カメラで初期化していないメモリーカードを再生した。	本カメラで初期化し、記録したカードをセットする。	—
	正常に記録されていないメモリーカードを再生した。	正常に記録されているカードをセットする。	—
	メモリーカードの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布で拭き取る。	—
	使用中のメモリーカードに異常がある。	記録済みの別のカードを再生する。異常がなければカメラは正常です。カードの異常が考えられるため、そのカードを使用しないでください。	—
画面が消えた。	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。	P.26
	操作しない時間が続いたので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.28
ファイルを削除できない。	プロテクトが設定されている。	プロテクトを解除する。	P.91
	メモリーカードが「LOCK」されている。	書き込み禁止を解除する。	—
メモリーカードを初期化できない。	メモリーカードが「LOCK」されている。	書き込み禁止を解除する。	—

その他

症状	原因	処置	参照先
メモリーカードが入らない。	挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.23
カメラのボタンを操作しても作動しない。	バッテリーが消耗している。	バッテリーを充電する。	P.26
	カメラの誤作動。	POWER ボタンを押して、いったん電源をオフにし、再度 POWER ボタンを押して、電源をオンにする。	P.28
		バッテリーをセットし直す。ACアダプター使用時には接続し直す。	P.23 P.143
日付が正しくない。	正しい日付・時刻が設定されていない。	正しい日付・時刻を設定する。	P.30
設定した日付が消えてしまった。	バッテリーを抜いてしまった。	バッテリーを取り出した状態で約5日間以上続けると、日付がリセットされるので、設定し直す。	P.30
AV 機器に映らない。	[ビデオ方式] の設定が間違っている。	正しい方式を設定する。	P.101
	AV ケーブル/HDMI ケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルを正しく接続し直す。	P.100
	AV 機器の入力切り替えの設定が間違っている。	AV 機器の入力切り替えが正しいか確認する。	—

主な仕様

カメラ本体

カメラ部有効画素数	約 1620 万画素	
撮像素子	APS-C CMOS (総画素数約 1693 万画素)	
レンズ	焦点距離	18.3mm (35mm 換算値 28mm)
	F 値	F 2.8 ~ F 16
	撮影距離範囲	約 30cm ~ ∞ (レンズ先端から)
		約 10cm ~ ∞ (マクロ撮影時、レンズ先端から)
レンズ構成	5 群 7 枚 (非球面レンズ 2 面 2 枚)	
フォーカスモード	マルチ AF (コントラスト AF 方式) / スポット AF (コントラスト AF 方式) / 被写体追尾 AF / MF / スナップ / ∞ (フォーカスロック、AF 補助光あり) / 顔認識優先 (オート撮影モード時のみ) / コンティニユアス	
シャッター スピード	静止画	バルブ/タイム/300 秒/240 秒/120 秒/60 秒/30 秒/25 秒/20 秒/15 秒/13 秒/10 秒/8 秒/6 秒/5 秒/4 秒/3.2 秒/2.5 秒/2 秒/1.6 秒/1.3 秒/1 ~ 1/4000 秒 (撮影モード、フラッシュモードによりシャッタースピードの上限と下限が変わります。)
	動画	1/60 ~ 1/2000 秒
露出制御	測光モード	マルチ (484 分割) / 中央重点測光 / スポット測光 (TTL 測光式、AE ロック可能)
	露出制御モード	プログラム AE、絞り優先 AE、シャッター優先 AE、シャッター & 絞り優先 AE、マニュアル露出
	露出補正	マニュアル補正 (+4.0 ~ -4.0EV、1/3EV ステップ)、オートブラケット機能 (-2.0EV ~ +2.0EV、1/3EV/1/2EV ステップ)
	露出連動範囲	1.8 ~ 17.8 EV (オート撮影モード、測光モード [中央] 時、ISO AUTO の連動範囲を ISO 100 で換算)
ISO 感度 (標準出力感度)	AUTO / AUTO-HI / ISO 100 ~ ISO 25600	
ホワイトバランスモード	AUTO / マルチパターン AUTO / 屋外 / 日陰 / 曇天 / 白熱灯 1 / 白熱灯 2 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球色蛍光灯 / 色温度設定 / 手動設定、ホワイトバランスブラケット機能	
フラッシュ	フラッシュモード	強制発光 / AUTO / 赤目軽減 AUTO / スローシンクロ / 赤目軽減強制発光 / 赤目軽減スローシンクロ / マニュアル発光
	ガイドナンバー	5.4 (ISO 100 換算)
フラッシュ	調光範囲	約 20cm ~ 3.0m (ISO AUTO)
	調光補正	± 2.0EV (1/3EV ステップ)
	充電時間	リチャージャブルバッテリー使用時: 約 5 秒
画像モニター	3.0 型 透過型液晶、約 123 万ドット (640 × 4 × 480 = 1,228,800)、保護カバー有り	

撮影モード	オート撮影モード/プログラムシフトモード/絞り優先モード/シャッター優先モード/シャッター&絞り優先モード/マニュアル露光モード/動画/マイセッティングモード	
記録画素数	静止画	L (16M 相当) : 4928 × 3264 / 4352 × 3264 / 3264 × 3264 M (10M 相当) : 3936 × 2608 / 3488 × 2608 / 2608 × 2608 S (5M 相当) : 2912 × 1936 / 2592 × 1936 / 1936 × 1936 XS (1M 相当) : 1280 × 864 / 1152 × 864 / 864 × 864 動画切り出し静止画 : 1920 × 1080 / 1280 × 720 / 640 × 480
	動画	1920 × 1080 / 1280 × 720 / 640 × 480
記録媒体	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード (UHS-I)、Eye-Fiカード (X2 シリーズ)、内蔵メモリー (約 54MB)	
画像ファイル形式	静止画	JPEG (Exif ver. 2.3) *1、RAW (DNG)
	動画	MOV (映像 : MPEG-4 AVC/H.264、音声 : LinearPCM)
その他主要撮影機能	連写、セルフタイマー (作動時間 : 約 2 秒 / カスタムセルフ)、インターバルタイマー (撮影間隔 : 1 秒、2 秒、5 秒 ~ 1 時間、5 秒単位) *2、エフェクトブラケット、ダイナミックレンジブラケット、コントラストブラケット、色空間設定、FA・ターゲット移動、ダイナミックレンジ補正、多重露光撮影、インターバル合成、ノイズリダクション、ヒストグラム表示、グリッドガイド表示、被写界深度表示、電子水準器	
その他主要再生機能	縦横自動回転再生、一覧表示、拡大表示 (拡大倍率最大 16 倍)、スライドショー、画像サイズ変更、斜め補正、レベル補正、ホワイトバランス補正、トリミング、DPOF 設定、色モアレ補正、RAW 現像、動画ファイル部分切り出し、動画からの静止画保存	
外部インターフェイス	AV/USB 出力端子 (High-Speed USB / 映像出力 / 音声出力 (モノラル))、HDMI 出力端子	
ビデオ信号方式	NTSC、PAL 切り替え	
電源	リチャージャブルバッテリー DB-65 (3.7V) × 1 本 AC アダプター (AC-5c オプション) : 3.8V	
電池寿命 *4	CIPA 規格準拠 : 約 290 枚	
外形・寸法	117mm (幅) × 61mm (高さ) × 34.7mm (奥行き) (突起部含まず)	
質量	本体約 215g (バッテリー/メモリーカード/ストラップを除く) 付属品約 30g (バッテリー/ストラップ)	
三脚ネジ穴形状	1/4-20UNC	
データ保持時間	約 5 日間	
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃	
使用湿度範囲	90% 以下	
保存温度範囲	-20℃ ~ 60℃	

- *1 DCF 準拠、DPOF 対応。DCF は JEITA で標準化された「Design rule for Camera File system」の略称です（機器間の完全な互換性を保証するものではありません）。
- *2 フラッシュ OFF 時。
- *3 マスストレージは、Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows 8、Mac OS X 10.1.2 ~ 10.8、64bit に対応しています。
- *4 撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件によるもので、使用条件により大きく異なります。

USB 電源アダプター AC-U1

電源	AC 100 ~ 240V (50/60Hz) 0.2A
出力電圧	DC 5.0V 1000mA
使用温度	10℃ ~ 40℃
外形寸法	42.5mm × 22mm × 66.5mm（電源プラグ含まず）
質量	約 40g（電源プラグ含まず）

リチャージャブルバッテリー（リチウムイオン電池）DB-65

公称電圧	3.6V
定格容量	1250mAh (Min. 値)、1275mAh (Typ. 値)
使用温度	0℃ ~ 40℃
本体外形寸法	35.3 × 40.3 × 9.4mm
質量	約 27g

記録可能枚数／時間

内蔵メモリー／メモリーカードの容量別、フォーマット別の記録可能枚数／時間（秒）の目安は、以下のとおりです。

	フォーマット	内蔵	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB		
静止画	RAW	3:2	2	39	79	155	317	624	1257	
		4:3	2	39	79	155	317	624	1257	
		1:1	2	39	79	155	317	624	1257	
	L	3:2	6	121	246	481	982	1935	3899	
		4:3	7	137	278	544	1111	2188	4408	
		1:1	10	181	368	719	1468	2892	5825	
	M	3:2	10	187	382	746	1522	2999	6041	
		4:3	11	211	429	839	1712	3374	6796	
		1:1	15	279	567	1109	2263	4457	8978	
	S	3:2	18	334	680	1329	2710	5339	10754	
		4:3	21	373	754	1475	3008	5925	11934	
		1:1	27	486	982	1919	3915	7712	15534	
	XS	3:2	78	1383	2813	5498	11212	22086	44484	
		4:3	85	1484	2947	5759	11746	23138	46602	
		1:1	105	1844	3641	7115	14509	28582	57567	
	動画	FullHD	30 画 / 秒	36	318	638	1277	2555	5112	10226
			25 画 / 秒	43	384	770	1542	3086	6174	12349
			24 画 / 秒	44	400	802	1606	3213	6428	12857
HD		60 画 / 秒	40	332	665	1331	2664	5330	10661	
		50 画 / 秒	45	381	763	1527	3056	6113	12228	
		30 画 / 秒	61	528	1058	2118	4239	8479	16959	
		25 画 / 秒	71	627	1255	2511	5023	10048	20098	
		24 画 / 秒	74	653	1307	2616	5234	10469	20939	
VGA		30 画 / 秒	78	801	1603	3207	6417	12835	25671	
		25 画 / 秒	95	947	1895	3793	7587	15175	30353	
		24 画 / 秒	95	983	1967	3936	7873	15748	31497	



メモ

- 動画の記録可能時間は、合計の記録可能時間の目安です。1回の撮影で記録可能な動画は、最大 25 分または最大 4GB までです。
- 画像モニターに表示される残り記録枚数は、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- 静止画の記録可能枚数や動画の記録時間は、記録先の容量や撮影条件などによって異なる場合があります。
- 内蔵メモリーに動画を記録した場合、メモリーカードに比べて画質が低下します。

別売り品の取り付け

コンバージョンレンズ／フード&アダプター

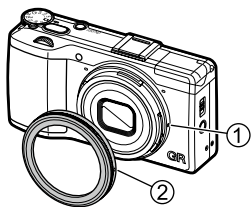
コンバージョンレンズ (GW-3) / フード&アダプター (GH-3) を使用するときは、リングキャップを取り外します。

取り外し方

カメラの電源がオフの状態、リングキャップを反時計回りに回して取り外します。

取り付け方

カメラの電源がオフの状態、カメラ本体の目印①にリングキャップの目印②を合わせ、「カチッ」と音がする位置まで時計方向に回します。



6

付録



メモ

- ・コンバージョンレンズを使用するときは、[セットアップ] メニューの [コンバージョンレンズ] を [WIDE] に設定してください。

ACアダプター

長時間使用したり、パソコンと接続する場合には、ACアダプター (AC-5c) を使用することをお勧めします。

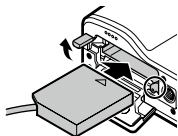
ACアダプターをセットする場合は、カメラの電源がオフになっていることを確認してください。

1 カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドさせ、バッテリー／カードカバーを開ける

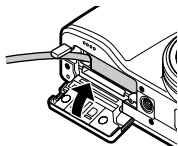
バッテリーが入っていた場合は取り出してください。

2 ACアダプター用バッテリーを挿入する

3 電源(DC入力)ケーブルカバーを開け、ケーブルを外に出す



4 バッテリー／カードカバーを閉じ、解除レバーを「OPEN」と反対側にスライドさせてロックする



5 電源プラグをコンセントに差し込む

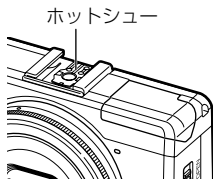
注意 -----

- ・電源プラグやACコードは、しっかりと差し込んでください。
- ・カメラをご使用にならないときには、ACアダプターをカメラや電源コンセントから抜いてください。
- ・カメラの使用中にACアダプターを取り外したり、電源プラグがコンセントから抜けたりすると、データが破壊されることがあります。
- ・ACアダプターの使用中は、ACアダプターのケーブルを持ったままカメラを動かさないでください。
- ・国や地域によっては、使用できない場合があります。

外部フラッシュ

本カメラのホットシューに外部 TTL フラッシュ (GF-1) を接続し、TTL 自動調光フラッシュとして使用できます。

- 1 フラッシュカバーを閉じる
- 2 ホットシューに装着されているホットシューカバーを取り外す
- 3 カメラと外部フラッシュの電源がオフの状態、外部フラッシュをホットシューに取り付ける
- 4 外部フラッシュとカメラの電源をオンにする



注意

- ・ 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュをポップアップしないでください。傷や故障のおそれがあります。
- ・ 外部フラッシュをカメラから取り外すときは、外部フラッシュの電源を切ってから行ってください。
- ・ 内蔵フラッシュの光量だけでは不足する距離（遠距離側）のときに外部フラッシュを使用してください。近距離側では露出オーバーになることがあります。

メモ

- ・ 外部フラッシュが認識されないときは、外部フラッシュとカメラの電源をオフにして、外部フラッシュを接続し直してください。
- ・ フラッシュモードは (▶) ボタンで切り替えます。(P.74) マニュアル発光は、GF-1 側で操作してください。フラッシュの発光量は [撮影設定] メニューの [フラッシュマニュアル発光量] で設定できます。(P.77)

GF-1 以外の外部フラッシュを使用する場合

- 1 外部フラッシュをホットシューに取り付ける
- 2 カメラの電源を入れ、モードダイヤルを Av / TAv / M に合わせて絞り値を設定する
- 3 カメラの ISO 感度を [AUTO] [AUTO-HI] 以外に設定する
- 4 外部フラッシュの電源を入れ、外部フラッシュを自動 (オート) に設定し、絞り値と ISO 感度をカメラに合わせる

注意 -----

- GF-1 以外の市販フラッシュをご使用になる場合は、信号端子は X 接点のみで極性が +、電圧が 20V 以下であることを確認してください。
- フラッシュの設定にかかわらず、ホットシューの X 接点にフラッシュ発光信号が出力されます。外部フラッシュのフラッシュ発光停止は、外部フラッシュ側で行ってください。
- 外部フラッシュの絞り値と ISO 感度をカメラと同じ条件にしても、適正露出にならない場合があります。そのときは外部フラッシュ側の絞り値や ISO 感度を変更してください。
- 撮影レンズの画角をカバーする照射角を持つ外部フラッシュを使用してください。

海外でお使いのときは

USB 電源アダプター (AC-U1) / AC アダプター (AC-5c) / バッテリーチャージャー (BJ-6) について

交流 100 ~ 240V、50Hz/60Hz の地域でご使用になれます。

使用する国の電源コンセントに合った形状の変換アダプターを、あらかじめご用意ください。

電子式変圧器は使用しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

保証について

本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

現地のテレビで再生する場合

映像入力端子付きのテレビやモニターで再生できます。別売りの AV ケーブルをご使用ください。

6
付録

本カメラでは、ビデオ方式は NTSC と PAL に対応しています。現地のテレビ環境に合わせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。

海外へお出かけの際は、事前にビデオ方式をご確認ください。

使用上のご注意

カメラ本体

- ・本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- ・海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- ・カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- ・カメラを持ち運ぶときは、本体に衝撃を与えないようにしてください。特にレンズや画像モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- ・フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
- ・火傷や発火の原因になりますので、フラッシュ発光部に触れたり、物を密着させたままフラッシュを発光しないでください。
- ・視力障害の原因にもなりますので、目の近くでフラッシュを発光させないでください（特に乳幼児）。
- ・事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
- ・カメラを長時間連続使用した後は、すぐにバッテリーを取り出さないでください。
- ・画像モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなる場合があります。
- ・画像モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
- ・画像モニターを強く押さないでください。
- ・温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。
- ・故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針などを通さないでください。
- ・カメラを濡らさないでください。また、濡れた手でカメラを操作しないでください。故障や感電の原因となります。
- ・大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださいとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯などをお勧めいたします。



結露の発生しやすい状態

- ・急激な温度差のあるところに移動したとき
- ・湿気の多いとき
- ・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接当たるとき

USB 電源アダプター AC-U1

- ・ USB ケーブルは、同梱品をご使用ください
- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 極端に暑いところや寒いところ、振動の激しいところでは使用しないでください。
- ・ 直射日光の当たるところや、高温になるところで使用しないでください。
- ・ 充電終了後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのままにしておくと火災の原因になることがあります。
- ・ 充電式電池の接続部や接点部に他の金属が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- ・ 使用温度範囲は 10℃～40℃です。10℃以下でご使用になると、充電が長時間になる場合があります。



注意

- ・ 指定以外の電池を使用した場合、破裂のおそれがあります。
- ・ 使用済みのバッテリーは電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。

リチャージャブルバッテリー DB-65

- ・ このバッテリーはリチウムイオンタイプです。
- ・ 出荷時にはフル充電されていませんので、ご使用になる前に必ず充電してください。
- ・ 火災および火傷の危険がありますので、バッテリーを開けたり、潰したりしないでください。また、60℃を超えて加熱したり、焼却したりしないでください。
- ・ 寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されているバッテリーを使用していても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れるなどして暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。
- ・ 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、充電器から取り外してください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなるおそれがあります。なお、カメラからバッテリーを取り出して 5 日間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。ご使用の際には、再度、設定してください。
- ・ 長期間保存する場合は、年に 1 回、15 分程度充電した後、保存してください。
- ・ 涼しいところで保存してください。周囲の温度が 15℃～25℃の乾燥したところをお勧めします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。

- 充電が完了したバッテリーをすぐに再充電しないでください。
- 充電は周囲の温度が 10℃～40℃の温度範囲で行ってください。高温で充電するとバッテリーを劣化させるおそれがあります。また、低温で充電すると、十分な充電ができません。
- 十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命ですので、新しいバッテリーをお求めください。交換バッテリーは、必ず弊社推奨のバッテリーをお使いください。
- 充電時間は AC-U1 使用時、約 3 時間（25℃）です。

お手入れと使用／保管場所について

お手入れ

- ・レンズに指紋や汚れが付くと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
- ・レンズにゴミや汚れが付いたときは、直接手を触れず市販のプロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・海辺や薬品を使う場所で使用した後は、特に入念に拭いてください。
- ・万一カメラの具合が悪いときは、修理受付センターにご相談ください。
- ・このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- ・シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・画像モニターの表面は、傷つきやすいので、硬い物でこすったりしないでください。
- ・画像モニターの表面は、液晶ディスプレイの表面清掃用に市販されているクリーナー（有機溶剤の含まれていない物）を、柔らかい布に少量含ませて軽く拭き取ってください。

使用／保管場所について

- ・以下のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
 - 高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 振動の激しいところ
 - 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
 - 強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）
- ・長時間本カメラをご使用にならないときは、バッテリーを取り出して保管してください。

お手入れ時のご注意

- ・必ず電源をオフにしてください。
- ・バッテリーやACアダプターを取り外して、お手入れしてください。

アフターサービスについて

1. 本カメラが万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、当社修理受付窓口かお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. 次の場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
 - ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障
 - ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
 - ③ 火災、天災、地震、落雷、異常電圧などによる故障
 - ④ 浸（冠）水、塩害、液体（雨水、ジュース、酒類等）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
 - ⑤ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池などの液漏れ等、カビ発生、手入れの不備などによる故障
 - ⑥ 保証書の添付のない場合
 - ⑦ 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本カメラに関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただけます。
5. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
6. メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについて一切の保証はできませんので、修理にお出しになる場合には、データのバックアップをお取りください。
7. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
9. 販売店が独自に設けている延長保証は、本カメラの保証規定には適用されません。
10. 本カメラの補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5年を目安に保有しております。
11. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下などで損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われる物などは修理できない場合もあります。ご了承ください。
12. 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。

修理にお出しになる前

- ・バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- ・ホームページに最新の情報が掲載されていますのであわせてご確認ください。ホームページのアドレスは、使用説明書の巻末に記載されています。

修理にお出しになる際

- ・故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- ・修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。

索引

英数字

35mm クロップ	53
AC アダプター	143
ADJ. ISO ダイレクト変更	50
ADJ. モード	112
ADJ. レバー	17
ADJ. レバー設定	111
AE/AF ターゲット	60
AEL/AFL 設定	58
AEL/AFL ロック維持設定	59
AE ロック	58
AF ファンクション切り替えレバー	58
AF 補助光	15.126
AF ボタン	58
AV 機器	100
Av モード	42
C-AF 連写設定	59
DISP. 表示設定	116
DISP. ボタン	21
DNG	53
DPOF	101
Exif データ	119
Eye-Fi カード	24
Eye-Fi 通信	20
FA・ターゲット移動	60
Fn1/Fn2/Effect ボタン	113
Fn ボタン設定表示	114
HDMI 出力	101
HDMI マイクロ出力端子	15.100
ISO AUTO-HI 設定	49
ISO 感度	49
ISO 感度ステップ設定	49
Language/ 言語	30
Macintosh	129
MENU/OK ボタン	39
MF	56
M/TAv モードダイヤル設定	43
MY1/MY2/MY3	105
M モード	42

M モードワンタッチ動作	44
ND フィルター	47
NR	50
POWER (電源) ボタン	28
P モード	42
RAW	54
RAW 現像	99
SD メモリーカード	23
SILKYPIX Developer Studio	131
TAv モード	42
Tv モード	42
USB・AV OUT 兼用端子	15.26.100.130
USB ケーブル	26.130
USB 電源アダプター	26
Windows	129

あ

アオリ	36
赤目軽減 (フラッシュ)	74
アスペクト比	53
アップダウンダイヤル	17
後幕 (フラッシュ)	77
アフターサービス	151
一覧表示	87
色温度	65
色空間設定	127
色モアレ補正	98
インストール	131
インターバル合成	72
インターバル撮影	71
エフェクト	78
エフェクトブラケット	68
エフェクトボタン	114
エラーメッセージ	132
オート撮影モード	32
オートパワーオフ	28
オートフォーカス/フラッシュランブ	26.32.33
オートブラケット	68
屋外 (ホワイトバランス)	63
お手入れ	150
オプション	142

か

解除レバー	23
外部フラッシュ	144
拡大表示	88
各部の名称	14
加工	93
カスタマイズ	105
カスタムセルフ	35
画像確認時間	34
画像サイズ変更	93
画像設定	79
画像モニター	18
画像モニター輝度調節	115
画像モニター節電	29
感度	49
キーカスタム設定メニュー	124
キーカスタム設定初期化	128
強制発光 (フラッシュ)	74
記録可能枚数	27.141
記録サイズ	83
グラフィック表示	21.116
グリッドガイド	21.116
クロスプロセス (エフェクト)	78
蛍光灯 (ホワイトバランス)	63
蛍光灯ちらつき低減	83
言語	30
コンティニユアス AF	59
コントラスト	78.96
コントラストブラケット	68
コンバージョンレンズ	142

さ

再生	38.87
再生順序設定	38
再生設定メニュー	123
再生モード	28
再生モードダイヤル設定	88
彩度	78
先幕 (フラッシュ)	77
削除	89
撮影画像フォーマット	53
撮影設定初期化	128

撮影設定メニュー	120
撮影モード	42
撮影モード切替	108
三脚ネジ穴	15
絞り自動シフト	44
絞り値	42
絞りプレビュー	46
絞り優先モード	42
シャープネス	79
シャッター & 絞り自動シフト	44
シャッター & 絞り優先モード	42
シャッタースピード	42
シャッタースピード自動シフト	44
シャッター優先モード	42
充電	26
周辺減光	79
仕様	138
詳細情報表示	22
情報表示	21.116
情報表示モード	21
初期化	25
初期値	120
白黒 (エフェクト)	78
白とび警告表示	22
水準器	21.36.116
水準器設定	37
水準器 (アオリ方向) キャリブレーション	37
ストラップ取り付け部	15
スナップ (フォーカス)	56
スナップ時フォーカス距離	56
スピーカー	15
スポット AF (フォーカス)	54
スライドショー	87
スリープ	29
スローシンクロ (フラッシュ)	74
静止画保存	85
接写	57
セットアップメニュー	126
セルフタイマー	35
操作音	117
操作音音量設定	117

測光.....	52	日陰 (ホワイトバランス).....	63
ソフトウェア.....	131	被写界深度.....	56
た		被写体追尾 AF (フォーカス).....	54
ターゲット位置拡大再生.....	88	ヒストグラム.....	21.96.116
ターゲット移動.....	60	日付入れ撮影.....	82
ダイナミックレンジブラケット.....	68	ビデオ方式.....	101
ダイナミックレンジ補正.....	51	ビビッド (画像設定).....	79
タイム.....	45	ピンポイント AF (フォーカス).....	54
多重露光撮影.....	69	ファームウェアバージョン確認.....	119
縦横自動回転再生.....	38	ファイル番号リセット.....	118
端子カバー.....	26.100	ファイル名変更.....	117
長秒時ノイズ低減.....	44	フォーカス.....	54
著作権情報.....	119	フォーカスアシスト.....	60
追尾 AF (フォーカス).....	54	フォーカスパー.....	56
テレビ.....	100	フォーマット.....	25
電源.....	28	フォーマット・サイズ.....	53
電源 (DC 入力) ケーブルカバー.....	15.143	フラッシュ.....	74
電源プラグ.....	26	フラッシュシンク口設定.....	77
電源ボタンランプ.....	29	フラッシュ調光補正.....	76
電池.....	26	フラッシュマニュアル発光量.....	77
電池残量.....	20	ブリーチバイパス (エフェクト).....	78
動画.....	82	フルプレススナップ.....	62
動画ファイル部分切り出し.....	86	フレームレート.....	83
トリミング.....	94	プレビュー.....	46
曇天 (ホワイトバランス).....	63	プログラムシフトモード.....	42
な		プログラム線図.....	45
内蔵メモリー.....	25.93	プロテクト.....	91
斜め補正.....	95	別売り品.....	142
日時設定.....	30	保管.....	150
ノイズリダクション.....	50	保護.....	91
は		ポジフィルム調 (エフェクト).....	78
ハイキー (エフェクト).....	79	保証.....	146
ハイコントラスト白黒 (エフェクト).....	78	補正.....	93
白熱灯 (ホワイトバランス).....	63	ホットシュー.....	15.144
パソコンと接続.....	130	ホワイトバランス.....	63
バッテリー.....	23.26	ホワイトバランスブラケット.....	68
バッテリー/カードカバー.....	23	ホワイトバランス補正.....	98
バルブ.....	45	ま	
		マーク表示.....	22
		マイク.....	15
		マイセッティング.....	105
		マイセッティング削除.....	111

マイセッティング登録.....	106
マイセッティング編集.....	109
マイセッティング名称.....	110
マイセッティングモード (MY1/MY2 /MY3).....	108
マイセッティング呼び出し.....	107
マクロ.....	57
マニュアル発光 (フラッシュ) ..	74.77
マニュアルフォーカス.....	56
マニュアルホワイトバランス.....	66
マニュアル露光モード.....	42
マルチ AF (フォーカス).....	54
マルチパターン AUTO (ホワイトバラ ンス).....	63
ミニチュアライズ (エフェクト) ..	81
無限遠 (フォーカス).....	55
無線 LAN.....	24
明度.....	96
メニュー.....	39.120
メニューカーソル位置保持.....	128
メモリーカード.....	23
モードダイヤル.....	16

り

リチャージャブルバッテリー	23.26
リングキャップ.....	142
レトロ (エフェクト).....	78
レベル補正.....	96
連写.....	67
露出ブラケット.....	69
ロックボタン.....	16
露出補正.....	48

リコーフォトギャラリー RING CUBE

RING CUBE は、いつでも、気軽に、より多くの皆様に参加していただくためのフォトギャラリーです。

歴代のリコーカメラや新製品を展示しているほか、ワークショップスペースにて各種セミナーを実施しています。お気軽にご利用ください。

<http://ringcube.jp/>

東京都中央区銀座 5-7-2 三愛ドリームセンター 9F

開館時間 11:00 ~ 20:00 (火曜日休館)

ギャラリー・ショールーム

ペンタックスフォーラム

東京都新宿区西新宿 1-25-1

新宿センタービル MB (中地下 1F)

TEL 03-3348-2941

FAX 03-3345-8076

営業時間 10:30 ~ 18:30 (火曜日定休)

PENTAX FORUM

PENTAX SQUARE

■ フォトスクール・写真クラブ

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌

Pentax Ricoh Family Club

や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画であなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧ください。ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

<http://pentaxplus.jp/family/>

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル

TEL 03-3580-2060 FAX 03-3580-2065

営業時間 9:00～17:00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

保証規定

1. 本製品が万一故障した場合はご購入日から満1年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か当社修理受付窓口にお申し出ください。なお、お買い上げ店または当社修理受付窓口にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。
2. 以下の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
 - (1) 使用上の誤り（使用説明書以外の誤操作など）により生じた故障
 - (2) 当社の指定する修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
 - (3) 火災、天災、地震、落雷、異常電圧などによる故障
 - (4) 浸（冠）水、塩害、液体（雨水、ジュース、酒類等）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
 - (5) 保管上の不備（使用説明書に記載）や、電池などの液漏れ等、カビ発生、手入れの不備などによる故障
 - (6) 裏面の保証書（以下、本保証書と記す）の添付のない場合
 - (7) 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証の対象となる部分は本体のみでストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象とはなりません。
4. 本カメラの故障に起因する付随的損害（記録・再生に要した諸費用および、記録・再生により得べかりし利益の損失など）については補償しかねます。
5. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
6. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
7. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan)
国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
8. 本保証書は再発行いたしません。

ご注意

- * 当製品の修理に関するお問い合わせは、販売店または当社修理受付窓口までご連絡ください。
- * 本保証書をお受け取りの際は、販売店名および購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし、記入漏れがあった場合は、直ちにお買い上げ店へお申し出ください。
- * 部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、「アフターサービスについて」をご覧ください。
- * 保証期間経過後の修理等についてのお問い合わせは、当社修理受付窓口をご利用ください。
- * 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。
- * 販売店が独自に設けている延長保証は、当保証規定には適用されません。
- * 本保証書は上記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お困りのときは

本書の「お困りのときは」をご覧ください。問題が解決しないときには、下記にご確認ください。

■お客様相談センター <http://www.pentax.jp/japan/support/>

ナビダイヤル 0570-001313（市内通話料金でご利用いただけます）
・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-4330-0008（代）
におかけください。

営業時間 9：00～17：30（平日） 10：00～17：00（土・日・祝日）
休業日 年末年始およびビル点検日

修理受付

■ホームページ／電話による修理受付

＜修理受付センター／ピックアップリペアサービス＞

ナビダイヤル 0570-001301（市内通話料金でご利用いただけます）
・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-4330-0014（代）
におかけください。

営業時間 9：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

※ピックアップリペアサービスは、全国（離島など一部地域を除く）どこでも修理品梱包
資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサー
ビスです。インターネットからもお申し込みいただけます。

<http://www.pentax.jp/japan/support/repair.html>

※弊社修理受付後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

■持ち込みによる修理受付（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

＜東京サービスセンター＞

〒174-0041 東京都板橋区舟渡 1-12-11 ヘリオスIIビル3階
営業時間 9：00～17：30 TEL 03-3960-5140

＜大阪サービスセンター＞

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル2F
営業時間 9：00～17：00 TEL 06-6271-7996 FAX 06-6271-3612

ペンタックスリコーイメージング株式会社
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-35-7
2013年5月

Jp

JA Printed in China



* L 7 6 6 1 9 7 1 A *